ISSN0289～0712

川崎市青少年科学館年報

第 34 号
2015 年度

ANNUAL REPORT OF THE
KAWASAKI MUNICIPAL SCIENCE MUSEUM

No.34
2015-2016

川崎市青少年科学館

目次

はじめに　・・・

④ 天文サポーター研修会
⑤ 星空教室
⑥ プラネタリウムコンサート
⑦ 天文講演会
⑧ アストロテラス公開
⑨ 子どもプラネタリウム番組制作教室
（３）科学
① わくわく科学実験教室
② 実験工房
③ 発明教室
④ 出前科学実験教室
⑤ ゆうゆう広場科学実験教室
⑥ ふしぎ実験室
⑦ 大人のための科学実験教室
⑧ 21 世紀子どもサイエンス事業「ワクワクドキドキ玉手箱」
⑨ かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」
⑩ 科学サポーター研修会
⑪ 出前教室
（４）その他
① 夏休み理科教室
② 春休み理科教室
③ サイエンスカフェ
④ 科学講演会
⑤ 大人のための電子・電気教室
５　調査研究事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３０
（１）第 8 次川崎市自然環境調査報告の発刊
（２）学芸員・職員等による調査研究
２－１）川崎市青少年科学紀要 第 26 号掲載
① 論文
② 記録・報告
③ 目録
２－２）講演
① 自然
② 天文
（３）生田緑地およびその周辺のトンボ相調査
（４）生田緑地のホタル科調査
（５）生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖研究（委託）
（６）他機関における標本調査
（７）太陽系天体の観測
（８）川崎市域の星の見え方調査
（９）気象観測
６　資料収集・保管事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３２
（１）分類群ごとの標本製作
（２）収蔵標本（自然史資料）の整理、配架、登録および資料目録作成
① 整理および再配架
② 機関略号および各分類群の略号
③ 当館収蔵の標本（自然史資料）データの GBIF への提供、公開
（３）太陽表面観測データ整理
（４）プラネタリウム番組アーカイブ化
（５）寄贈資料整理
（６）所蔵図書および文献資料の整理

７　ネットワーク事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３４
（１）生田緑地サマーミュージアム
（２）夏休み生田緑地スタンプラリー
（３）多摩区民祭
（４）カーボンチャレンジ等々力エコ暮らしこフェア
（５）博物館連携
（６）教員研修会
（７）教職員社会体験研修
（８）職業体験
（９）学芸員実習
８　広報活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７
（１）ホームページアクセス数等
（２）外部メディアにおける掲載数
９　他施設交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３７

第３章　平成 28 年度事業計画
１　事業内容と予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
２　事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３８
（１）展示事業
（２）教育普及事業
（３）調査研究事業、収集保存事業
（４）ネットワーク事業

第４章　資料
１　関係例規　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４０
○川崎市青少年科学館条例
○川崎市青少年科学館使用規則
○川崎市青少年科学館使用規則施行規程
○川崎市青少年科学館協議会規則
２　刊行物　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
３　利用案内　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
４　来館者アンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５７
５　平成 26 年度事業評価（平成 27 年度実施）・・・・・・・・・・・・・・・　５８

はじめに

川崎市青少年科学館は、生田緑地（179.3ha）に立地する、市内唯一の自然・科学系の登録博物館である。

平成 24 年 4 月 28 日に通称「かわさき宙（そら）と緑の科学館」としてリニューアルオープンし、最新鋭のプラネタリウム設備および一新された展示設備等を備えた自然学習棟、調査研究や資料収集等の設備を備えた研究管理棟から成っている。

館では、これらの設備や周囲の自然環境などを活用しながら、自然、天文、科学の 3 分野において、教育普及、調査研究、資料の収集保存等に取り組んでいる。

第１章　概要

１　沿革

年月日		沿革
昭和 44（1969）年	10月	（仮称）こども科学館構想
46（1971）年	8月15日	プラネタリウム館開館
	11月21日	D51 型蒸気機関車引渡式
47（1972）年	7月 1日	川崎市青少年科学館協議会設置
	7月21日	全国科学博物館協会・日本博物館協会・日本天文学会加入
48（1973）年	6月15日	神奈川県博物館協会加入
49（1974）年	4月27日	日本プラネタリウム協会加入
	7月 3日	青少年科学館本館基本構想答申
55（1980）年	2月	プラネタリウム機種更新（GMⅡ-16-T）
57（1982）年	2月27日	青少年科学館本館開館　天体観測室設置
	5月28日	博物館登録
58（1983）年	3月.20日	青少年科学館本館展示室開館
	4月 1日	第 1 次川崎市自然調査開始
63（1988）年	4月 1日	第 2 次川崎市自然調査開始
平成 3（1991）年	4月 1日	第 3 次川崎市自然調査開始
5（1993）年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市市民ミュージアムに委託 （平成 11 年 4 月から(財)川崎市博物館振興財団に名称変更、 平成 17 年 4 月から(財)川崎市生涯学習財団に統合）
7（1995）年	4月 1日	第 4 次川崎市自然調査開始
10（1998）年	3月31日	青少年科学館基本構想策定
11（1999）年	4月 1日	第 5 次川崎市自然調査開始
15（2003）年	4月 1日	第 6 次川崎市自然調査開始
	11月 1日	メガスターⅡ公開（平成 16 年 4 月 1 日から通年公開）
17（2005）年	3月31日	生田緑地整備基本計画策定（環境局）
18（2006）年	4月 1日	施設の管理運営を(財)川崎市生涯学習財団から直営に移行
19（2007）年	4月 1日	第 7 次川崎市自然調査開始
20（2008）年	11月	青少年科学館改築基本計画策定
21（2009）年	3月	青少年科学館改築基本設計
22（2010）年	3月	青少年科学館改築実施設計
	8月	改築工事開始
23（2011）年	10月 1日	改築工事に伴い休館（平成 24 年 4 月 27 日まで）
24（2012）年	1月	市民公募により決定した通称「かわさき宙（そら）と緑の科学館」、愛称「サイエンスプリン」、マスコットキャラクター「かわさきぷりん」の使用開始
	3月	青少年科学館運営基本計画策定、改築工事終了
	4月28日	リニューアルオープン、MEGASTAR-Ⅲ FUSION 公開
25（2013）年	4月	指定管理者制度導入（学芸部門は直営）

２　施設

（１）施設概要

①　所在地

川崎市多摩区枡形７丁目１番地２

②　敷地面積

3854.40 ㎡

③　建築

自然学習棟

建築年月日	平成 24 年 3 月 22 日
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部 鉄骨造 3 階建て
建築面積	1528.52 ㎡

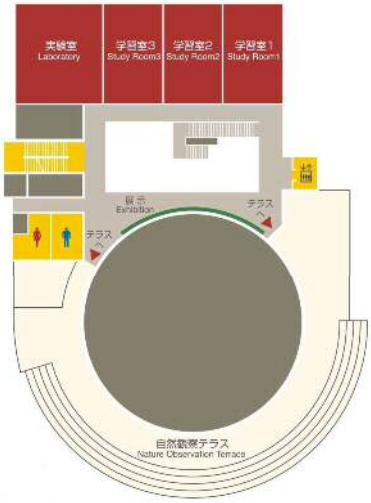
研究管理棟

建築年月日	昭和 57 年 2 月 27 日(平成 24 年 3 月 30 日改修)
建築構造	鉄筋コンクリート造 2 階建て
建築面積	617.43 ㎡

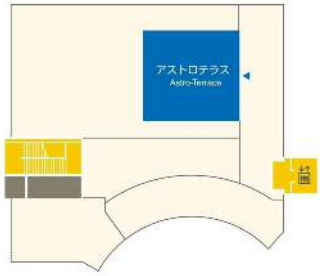
（２）各施設

①自然学習棟

１階



２階



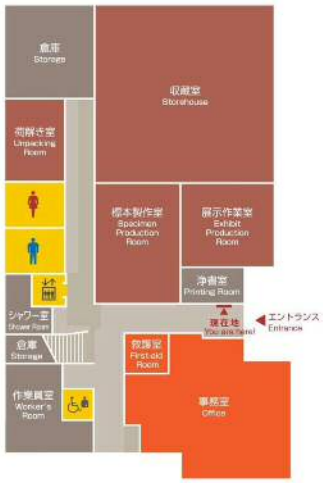
３階

展示室	川崎の自然・生物等に関する展示物を設置している。
ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	最新鋭の投影システム「MEGASTAR-Ⅲ FUSION」により、精緻な星空投影を実施している。
学習室	学習会、講演会、企画展示等を行うための設備を備えている。
実験室	基礎から応用まで様々な科学実験を可能とする設備を備えている。

自然学習棟各室別面積

自然学習棟（延床面積 2145.66 ㎡）			
１階	1509.17 ㎡	２階	574.15 ㎡
展示室	379.89 ㎡	学習室１	64.08 ㎡
ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	388.62 ㎡	学習室２	62.01 ㎡
ホール	248.61 ㎡	学習室３	62.01 ㎡
ｶﾌｪﾃﾘｱ	114.74 ㎡	実験室	92.93 ㎡
その他	377.31 ㎡	その他	293.12 ㎡
		３階	62.34 ㎡

②研究管理棟



1階

2階

研究管理棟各室別面積

研究管理棟（延床面積 929.00 ㎡）			
1階	542.96 ㎡	2階	366.72 ㎡
事務室	89.66 ㎡	調査研究室	104.10 ㎡
標本製作室	46.40 ㎡	天体観測室	41.26 ㎡
展示製作室	34.97 ㎡	図書資料室	83,76 ㎡
収蔵庫	144.00 ㎡	その他	137.60 ㎡
その他	227.93 ㎡	屋上	19.32 ㎡

標本製作室　標本整理のための作業台及び標本作成のための設備を備えている。

展示製作室　展示資料の更新作業等を行うための設備を備えている。

収蔵庫　生田緑地内および川崎市域等で収集された標本類を適切に保存するための設備を備えている。

調査研究室　職員、市民団体が自然に関する調査研究を行うための設備を備えている。

天体観測室　40 ㎝反射望遠鏡、天体撮影装置等、天文の調査研究を行うための設備を備えている。

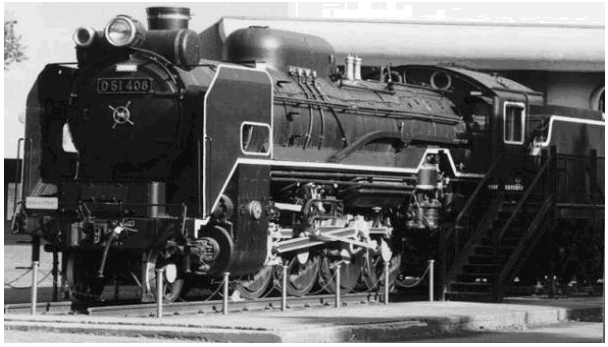
（３）　屋外展示

IDI 過熱テンダー機関車（D51 408 号機）

昭和 15 年 4 月 12 日、日本車輌製造株式会社で製造され、北陸線・山陽線・山手線などで主に貨物輸送に活躍した。

昭和 45 年 11 月、新鶴見機関区で廃車となり、昭和 46 年 10 月、青少年科学館に生きた教材（愛称：でこちゃん号）として展示されることになった。国鉄大宮工場で解体され、30 t 積みトレーラー3 台、8 t 積みトラック 4 台に分けて運搬され、組立の上設置された。

平成 23 年 3 月、アスベスト対策工事実施。



（最大 1,200 馬力、全長 19.5 m、高さ 3.9 m、幅 2.8 m、機関車空車 70 t、炭水車空車 19 t）

3　運営組織及び職員

（1）組織構成

●館　長

【管理担当】
担当係長
・館の庶務・財務事務

【自然班】　職　　員（2 名）
担当係長（学芸員）　嘱託職員（2 名）
・資料収集・保管、調査・研究、教育普及・展示
・科学普及

【天文班】　嘱託職員（3 名）
担当係長（学芸員）
・天文、プラネタリウム事業

指導主事
・科学普及、学校支援

指定管理者
・施設管理、広報

（2）職員

（平成 28 年 3 月 31 日現在）

	氏名	職名	担当
館長	島田　秀雄	館長（事務職員）	館総括
管理担当	黒瀬　輝章	担当係長（事務職員）	管理、庶務
自然班	川島　逸郎	担当係長（技術職員・学芸員）	自然班総括
	柳下　庸子	主任（事務職員）	自然
	堀内　慈恵	主任（事務職員）	自然
	永井　一雄	非常勤職員	自然
	高梨　沙織	非常勤職員	自然
天文班	弘田　澄人	担当係長（技術職員・学芸員）	天文班総括
	佐藤　幹哉	非常勤職員	天文
	成瀬　裕子	非常勤職員	天文
	國司　　眞	非常勤職員	天文
指導主事	大泉　文人	指導主事	科学普及・学校支援

※指定管理者除く

４　川崎市青少年科学館協議会

（１）　設置根拠

川崎市青少年科学館協議会は、川崎市青少年科学館条例第 16 条に基づき、青少年科学館の円滑な運営を図るため設置され、市内の学校教育職員、社会教育関係者、学識経験者及び公募市民の合計 10 名で構成されている。平成 27 年度は次のとおり協議を行った。

川崎市青少年科学館協議会委員名簿（任期：平成 26 年 6 月 1 日～平成 28 年 5 月 31 日）　　◎会長　○副会長

氏名	役職名	氏名	役職名
上杉　岳啓	中学校教育研究会理科部会 部会長（白鳥中学校 校長）	山上　　明◎	東海大学 名誉教授 （動物生態学）
井上　明彦	小学校理科教育研究会 会長（渡田小学校 校長）	勝山　輝男	県立生命の星・地球博物館 学芸部長 （植物分類学）
中山　純史○	東芝未来科学館 館長 平成 28 年 2 月 15 日解嘱	洞口　俊博	国立科学博物館 理工学研究部理化学 グループ研究主幹（天文学）
岩切　貴乃	東芝未来科学館 館長 平成 28 年 2 月 16 日委嘱	木場　英久	桜美林大学リベラルアーツ学群 教授 （植物学）
渡邊　敬三○	公募市民 （副会長職は第 4 回協議会以降）	有北いく子	特定非営利活動法人 ままとんきっず　理事長
服部　公俊	公募市民		

（２）　活動内容

開催日	会場	主な内容
6 月 18 日（木）	自然学習棟学習室 1	平成 26 年度事業評価、平成 27 年度事業計画について
10 月 14 日（水）	自然学習棟学習室 3	平成 26 年度事業評価、平成 27 年度事業経過報告について
11 月 17 日（火）、19（木）、22 日（日）、12 月 15 日（火）、17 日（木）、18 日（金）、20 日（日）、23 日（水）	科学館内外	事業視察（プラネタリウム投影、地層観察会等）
平成 28 年 3 月 2 日（水）	自然学習棟学習室 1	平成 28 年度事業計画について

第２章　平成２７年度事業報告

１　利用状況

				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数				20,680	34,062	21,272	23,662	28,556	29,076	31,366	25,328	17,467	17,476	18,528	25,230	293,333
入館者数のうち	プラネタリウム観覧者数			6,288	11,457	9,859	11,514	12,621	10,380	11,366	8,269	7,273	6,678	6,982	8,137	110,824
	プラネタリウム観覧者数内訳	学習投影観覧者数		0	1,598	4,150	2,940	0	2,548	3,744	2,100	2,702	1,153	1,655	1,107	23,697
		一般投影観覧者数		6,288	9,859	5,709	8,448	12,621	7,472	6,559	6,169	4,388	5,525	5,327	7,030	85,395
		一般投影観覧者数内訳	一般	3,452	5,872	3,391	4,482	6,461	4,341	3,880	3,638	2,473	3,052	3,053	3,675	47,770
			65歳以上	322	488	343	406	529	280	299	281	254	280	258	366	4,106
			高校・大学生	451	844	415	498	715	462	528	531	383	396	408	558	6,189
			中学生以下	2,063	2,655	1,560	3,062	4,916	2,389	1,852	1,719	1,278	1,797	1,608	2,431	27,330
		特別投影観覧者数		0	0	0	126	0	360	1,063	0	183	0	0	0	1,732
	講座等参加者数			544	1,415	588	1,268	895	1,033	1,119	999	987	1,051	918	657	11,474
	ｱｽﾄﾛﾃﾗｽ公開時入場者数			1,301	2,951	796	1,795	1,019	1,545	2,214	1,415	1,902	1,813	2,166	2,281	21,198
館外活動参加者数				265	481	564	1,335	3,203	938	1,591	1,391	2,368	1,126	891	373	14,526
利用者数合計				20,945	34,543	21,836	24,997	31,759	30,644	32,957	26,719	19,835	18,602	19,419	25,603	307,859
開館日数				25	27	25	27	26	25	27	24	23	24	23	27	303
１日平均利用者数				838	1,279	873	926	1,222	1,226	1,221	1,113	862	775	844	948	1,016

年度別利用者の推移

年度	ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	天体観測室	展示室	学習等参加者	合計
23年度	18,910	2,870	0	17,885	39,665

年度	入館者数	入館者数のうち			館外活動参加者	利用者総数
		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ	ｱｽﾄﾛﾃﾗｽ	講座等参加者		
24年度	367,238	148,693	51,171	16,197	18,630	385,868
25年度	301,399	125,739	29,338	12,904	16,296	317,695
26年度	292,238	115,819	24,659	14,548	17,025	309,263
27年度	293,333	110,824	21,198	11,474	14,526	307,859

＊平成22年度から改築整備工事着工。平成23年10月1日～平成24年4月27日休館
＊平成24年度統計から項目等変更

２　市民団体等活動実績

	自然分野	天文分野	科学分野
教育普及活動	72	90	482
調査研究活動	1,198	191	2
収集保存活動	728	7	6
その他	0	1	18
合計	1,998	289	508

＊延べ人数

３　展示事業

（１）自然

①　常設展示

川崎の自然を 1 階展示室で「川崎の大地」「丘陵の自然」「街の自然」「多摩川の自然」「生田緑地ギャラリー」と 5 つのコーナーに分けて紹介した。

「川 崎 の 大 地」…生田緑地約 100 万年の歴史を約 5 分の 1 に縮小した 8 m の「地層タワー」で再現。火山灰や有孔虫化石の顕微鏡観察。川崎市内で発掘されたアケボノゾウ(*Stegodon aurorae*)の臼歯化石（市重要天然記念物（昭和 48 年 3 月 14 日指定）や、飯室層（泥岩層）から産出する代表的な化石の展示。

「丘 陵 の 自 然」…川崎の丘陵地で見られるさまざまな生き物たちを、季節ごとに分類して展示。谷戸に生息する生き物についてジオラマで生態を解説しているほか、里山でみられる代表的な生物を、柱状展示等で見せている。壁面には、里山の「生態系」をイメージした展示。

「街　の　自　然」…川崎で暮らしているタヌキ・ハクビシン・アライグマに直接触れられる（ハンズ・オン）標本展示のほか、都会に適応した生物の代表として、ハシブトガラスやセイヨウタンポポなどの生態展示で見せている。都会でみられるセミ類や鳥類などは、音声を活用した展示を行っている。

「多摩川の自然」…多摩川 138 km の始まりから終わりまでを、立体地図と断面図で展示。多摩川の上流から下流、河口までの生き物（水生生物や鳥類など）や石の状態、河口干潟などを展示。

「生田緑地ギャラリー」…生田緑地に生息する生き物たちを、標本や写真・レプリカで紹介。引出し展示を多用し、生物から地層の剥ぎ取りに至るまで、幅広く実物（標本）を展示している。

②　大地のつくり展

専修大学ネットワーク情報学部 2 年コンテンツデザインプログラムを専攻する学生たちが、川崎市立登戸小学校 6 年生の児童とともにデザインした体験型教材について、展示・解説を行った。

開 催 日：平成 28 年 1 月 24 日（日）
展示場所：自然学習棟 2 階　学習室
参 加 者：153 名

（２）天文

①　プラネタリウム一般投影

市民への天文知識普及を目的とし、定期的に新番組制作の上、その時季に見られる天文現象なども交えながら、解説員のマニュアル操作によるきめ細かい投影を行った（観覧者数 P. 6、学習投影 P. 9、投影時刻等 P. 52 参照）。

一般向け投影

	投影話題	内容
4 月	一番星・金星	この時期の一番星である宵の明星・金星について詳しく紹介する
5 月	大航海時代と南天の星座	大航海時代に作られた南天の星座や、南半球の天体を紹介する
6 月	冥王星と準惑星	冥王星や太陽系外縁天体について、その特徴などを紹介する
7 月	織り姫星と天の北極	織り姫星（ベガ）に注目し、歳差で移り変わる星空を紹介する
8 月	流れ星観察のコツ教えます！	流星群の起きる仕組みや流れ星の正体を解説する
9 月	中秋の名月	中秋の名月に関連し、お月見の風習や月の特徴を紹介する

10 月	球状星団のふしぎ	夜空に見える球状星団を紹介し、どのような天体かを解説する
11 月	もうひとつの地球	系外惑星が多数見つかっていることやその特徴を解説し、生命存在の条件にも触れる
12 月	宇宙観測新時代	すばる望遠鏡の成果など、望遠鏡の発達に伴う天文学の進歩を紹介する
1 月	星座はめぐる　～夜空の星時計～	日周運動と季節によって移り変わる星空を紹介する
2 月	もうすぐ超新星？　ベテルギウス	ベテルギウスが星の一生の最後に近いことを紹介し超新星について解説する
3 月	太陽からの贈り物	日食やオーロラなど太陽がもたらす現象を紹介する

子ども向け投影

	投影話題
4月～ 5月	たぬきくん　はるのぼうけん
6月～ 7月	七夕ものがたり
8月～ 9月	生まれたときの光　ぷりんちゃんのぼうけん
10月～11月	おさかなぴーすけ、そらへいく
12月～ 1月	ほうき星とたいようけいたんけん
2月～ 3月	ももんがさんとおほしさまじゅーす

②　星空ゆうゆう散歩

プラネタリウム解説を半世紀以上続けている河原郁夫氏（写真）を迎え、主にシニア層を対象とした投影を行った。

対　　象　　主にシニア層（中学生以上観覧可能）

開催日	投影話題	内容	参加人数
4月16日（木）	黄道 12 星座	黄道上に描かれた星占いの星座について	138
5月21日（木）	コアラの国の星空	オーストラリアの星座について	186
6月18日（木）	宵の明星、明けの明星	宵の明星、金星について	194
7月16日（木）	七夕の夫婦星	七夕の織女星、彦星について	97
9月17日（木）	中秋の名月	秋の星座と月について	105
10月15日（木）	天の川の旅	天の川とアンドロメダ銀河について	154
11月19日（木）	太陽系外惑星と宇宙人	系外惑星と宇宙の生命について	136
12月17日（木）	グリーンランドの星空	グリーンランドなど極北の星空について	122
1月21日（木）	逆立ちのオリオン座	南半球で見るオリオン座について	150
2月18日（木）	１等星めぐり	冬の空に見える１等星について	140
3月17日（木）	星の美と神秘	星空の魅力、プラネタリウムの星空について	182
		合計	1,604

③　ベビー＆キッズアワー

未就園児とその保護者がともに楽しめる投影として行った。満員時には適宜追加投影を実施した。

対　　象　　主に４歳までの乳幼児とその保護者

開催日	人　数	開催日	人　数
4月15日（水）	62	11 月 18 日（水）	99
5月20日（水）	162	12 月 2 日（水）	193
6月 3日（水）	40	12 月 16 日（水）	257
6月17日（水）	123	1 月 20 日（水）	244
7月15日（水）	197	2 月 3 日（水）	114
9月16日（水）	173	2 月 17 日（水）	229
10月 7日（水）	199	3 月 2 日（水）	212
10月21日（水）	214	3 月 16 日（水）	400
		合計	2,918

④　プラネタリウム学習投影

小学校、中学校、高等学校を対象に学習指導要領に準拠した投影を、また、幼稚園、保育園を対象に「子ども向け投影」を行った。

学習投影内容

対象	投影内容
小学校１・２年生	季節ごとの星空物語
小学校３年生	星空と月の世界
小学校４年生	月の満ち欠け　星の動きや明るさ
小学校５年生	四季の星座
小学校６年生	太陽や月の表面　太陽の位置と月の形
中学生	地球の自転と公転　太陽系と恒星
高校生	惑星視運動　歳差

幼稚園・保育園児	4月～ 5月	たぬきくん　はるのぼうけん
	6月～ 7月	七夕ものがたり
	8月～ 9月	生まれたときの光 ～ぷりんちゃんのぼうけん～
	10月～11月	おさかなぴーすけ、そらへいく
	12月～ 1月	ほうき星とたいようけいたんけん
	2月～ 3月	ももんがさんとおほしさまじゅーす

学習投影利用団体数

	団体数	利用者数
4 月	4 月は実施せず	
5 月	24	1, 598
6 月	54	4, 150
7 月	33	2, 940
8 月	夏季休業期間中は実施せず	
9 月	22	2, 548
10 月	41	3, 744
11 月	26	2, 100
12 月	30	2, 702
1 月	19	1, 153
2 月	18	1, 655
3 月	22	1, 107
合計	289	23, 697

学習投影実施状況

月	開催日	学校名	学年
5 月	8 日(金)	すみのえ幼稚園	
		狛江市立和泉小学校	4
	12 日(火)	小田原市立片浦小学校	1～6
	13 日(水)	南生田保育園	
	19 日(火)	サクラノ幼稚園	
	21 日(木)	サクラノ幼稚園	
		ハグミー・ナーサリー	

5月	21日(木)	梶ヶ谷保育園	
		仙川教会　子どもの家	
		中野島幼稚園	
		末長こぐま保育園	
	26日(火)	なかのしまのぞみ保育園	
		らいらっく保育園	
		菅保育園	
		川崎市立生田中学校	1
		生田保育園	
		調布たちばな幼稚園	
		津田山保育園	
		土渕保育園	
	28日(木)	川崎めぐみ幼稚園	
		川崎市立中原小学校	4
		川崎市立田島小学校	4
	29日(金)	キディ古市場保育園	
		調布多摩川幼稚園	
6月	2日(火)	玉川幼稚園	
		西高津保育園	
		西三田幼稚園	
		調布たちばな幼稚園	
		白鳥保育園	
	4日(木)	たちばな幼稚園	
		にじいろ保育園登戸	
		レッツ・びー梶ヶ谷保育園	
		小学館アカデミー西いくた保育園	
		町田市立第四小学校	4
	5日(金)	お茶の水女子大学附属中学校	2
		川崎市立千代ヶ丘小学校	4
		川崎めぐみ幼稚園	
		川崎市立東菅小学校	4
	9日(火)	レッツ・びー千年保育園	
		河田保育園	
		健爽学園　ゆりかご幼稚園	
		子母口わかば保育園	
		太陽第二幼稚園	
	11日(木)	川崎市立今井中学校	1
		川崎市立片平小学校	4
		北糀谷幼稚園	
	16日(火)	つるかわ保育園	
		丸山幼稚園	
		川崎市立宮崎小学校	4
		川崎たまがわ幼稚園	
		川崎市立夢見ヶ崎小学校	4
	17日(水)	NPO法人 星槎教育研究所	
	18日(木)	宮崎台幼稚園	
		川崎市立宮内小学校	4
		健爽学園　ゆりかご幼稚園	
	19日(金)	アスク柿生保育園	
		桐光学園 寺尾みどり幼稚園	
		川崎たまがわ幼稚園	
	23日(火)	スターチャイルドKSPナーサリー	

6月	23日(火)	宮崎二葉幼稚園	
		川崎市立犬蔵小学校	4
		西有馬おひさま保育園	
	24日(水)	至誠館ゆりがおか保育園	
		川崎若葉幼稚園	
	25日(木)	ちとせ山ゆり保育園	
		宮崎台幼稚園	
		太陽第一幼稚園	
		川崎市立平間小学校	4
	26日(金)	川崎市立坂戸小学校	4
		川崎市立菅小学校	4
		有馬白百合幼稚園	
		川崎市立臨港中学校　特別支援級	
	30日(火)	あかね台光の子保育園	
		うぃず向ヶ丘遊園保育園	
		ドルトンスクール東京	
		狛江こだま幼稚園	
		川崎市立西梶ヶ谷小学校	4
		洗足学園大学附属幼稚園	
7月	2日(木)	小野路保育園	
		川崎市立新町小学校	4
		潮見台みどり幼稚園	
		津田山幼稚園	
	3日(金)	ちよがおか幼稚園	
		桐光学園みどり幼稚園	
		川崎市立生田小学校	4
		川崎市立東門前小学校	4
		川崎市立百合丘小学校	4
	7日(火)	グリーンバレー等々力保育園	
		グリーンフォレスト神木保育園	
		川崎市立久本小学校	4
		川崎市立向丘小学校	4
		百合丘めぐみ幼稚園	
	8日(水)	ぶどうの実　久地園	
		川崎市立岡上小学校	4
		川崎市立大戸小学校	4
		川崎市立南百合丘小学校	4
	9日(木)	うさぎ幼児園	
		こうりんじ幼稚園	
		川崎おおぞら保育園	
		川崎青葉幼稚園	
		川崎市立末長小学校	4
	10日(金)	ベネッセ元住吉保育園	
		狛江みずほ幼稚園	
		川崎青葉幼稚園	
		川崎市立中野島小学校	4
		百合丘さくら幼稚園	
	14日(火)	アートチャイルドケア　津田山きらら	
		アスク武蔵新城保育園	
		カリタス幼稚園	
		ひばり幼稚園	
		川崎市立久地小学校	4

9月	8日(火)	川崎市立古市場小学校	4
		川崎市立幸町小学校	4
		川崎市立土橋小学校	4
		東京都大田区立萩中小学校	6
	10日(木)	川崎市立宮前平小学校	4
		川崎市立南野川小学校	4
		緑の杜保育園	
	11日(金)	川崎市立下作延小学校	4
		川崎市立南生田小学校	4
		川崎市立日吉小学校	4
	15日(火)	川崎市立西野川小学校	4
		川崎市立東高津小学校	4
		川崎市立南原小学校	4
		川崎市立木月小学校	4
	25日(金)	川崎市立梶ヶ谷小学校	4
		川崎市立西御幸小学校	4
		川崎市立西有馬小学校	4
	29日(火)	川崎市立鷺沼小学校	4
		川崎市立富士見台小学校	4
		矢の口幼稚園	
	30日(水)	川崎市立戸手小学校	4
		川崎市立西生田小学校	4
10月	1日(木)	川崎市立稲田小学校	4
		大和市立引地台小学校	4
		川崎市立高津小学校	4
	2日(金)	川崎市立下平間小学校	4
		川崎市立藤崎小学校	6
		川崎市立白幡台小学校	6
		川崎市立平小学校	4
	6日(火)	宿河原幼稚園	
		川崎市立新城小学校	4
		東京都大田区立嶺町小学校	6
	8日(木)	川崎市立旭町小学校	4
		川崎市立上丸子小学校	4
		川崎市立登戸小学校	4
		川崎市立有馬小学校	4
	9日(金)	せせらぎ保育園	
		のぼりっこ保育園	
		パレット保育園・高津	
		町田市立金井小学校　特別支援級	
		町田市立藤の台小学校　特別支援級	
	14日(水)	川崎市立柿生小学校	4
		関東学院小学校	1
		相模が丘小学校	5
	18日(日)	川崎市立聾学校	
	20日(火)	川崎市立苅宿小学校	4
		町田市立第一小学校	5
		川崎市立南河原小学校	4
	21日(水)	小桜愛児園	
	23日(金)	川崎市立下小田中小学校	4
		玉川保育園	
		女子学院高等学校	3

10 月	23 日（金）	平間保育園	
	27 日（火）	川崎市立御幸小学校	4
		川崎市立南百合丘小学校	6
		川崎市立夢見ヶ崎小学校	6
	28 日（水）	セントメリーズインターナショナルスクール	5
		川崎市中学校連合文化祭	
	29 日（木）	川崎市立川崎小学校	4
		代田保育園	
		津田山幼稚園	
	30 日（金）	稲田保育園	
		川崎市立今井小学校	6
11 月	5 日（木）	あけぼの幼稚園	
		玉川保育園	
		東中野島保育園	
		川崎市立有馬小学校	6
	6 日（金）	川崎市立柿生中学校　特別支援級	
		勝田保育園	
		川崎朝鮮初級学校	6
	10 日（火）	横浜市立いぶき野小学校	3
		川崎市立鷺沼小学校	6
		川崎市立東高津中学校　特別支援級	
	11 日（水）	横浜市立谷本小学校	6
		川崎市立田島小学校	6
	17 日（火）	川崎市立はるひ野小学校	6
		下麻生保育園	
		町田市立鶴川第二小学校	6
	20 日（金）	レッツ・びー梶ヶ谷保育園	
		川崎市総合教員センター　教育相談センター　ゆうゆう広場	
		川崎市立長沢小学校	6
		木月保育園	
		有馬はなみずき保育園	
	25 日（水）	なのはな保育園	
		藤沢市立六会小学校	6
	26 日（木）	川崎市立はるひ野小学校	4
		川崎市立住吉小学校	6
	27 日（金）	横浜市立元石川小学校	6
		川崎市立宿河原小学校	4
12 月	1 日（火）	横浜市立新吉田小学校	3
		川崎市立南菅小学校	4
	2 日（水）	相模原市児童相談所	
	3 日（木）	川崎市立玉川小学校	4
		川崎市立虹ヶ丘小学校	6
		川崎市立虹ヶ丘小学校	4
	4 日（金）	横浜市立上瀬谷小学校	3
		川崎市立東小倉小学校	4
	8 日（火）	川崎市立下布田小学校	4
		川崎市立栗木台小学校	4
		川崎市立片平小学校	6
	9 日（水）	川崎市立新作小学校	6
		横浜市立東山田小学校	5
		神奈川県立麻生養護学校	
	10 日（木）	川崎市立宮崎台小学校	6

12 月	10 日(木)	川崎市立真福寺小学校	4
		川崎市立菅生小学校	4
		川崎市立川崎小学校	3
	11 日(金)	川崎市立千代ヶ丘小学校	6
		川崎市立東柿生小学校	6
		神奈川県立麻生養護学校	
	15 日(火)	川崎市立宿河原小学校	6
	16 日(水)	東京学芸大学附属高等学校	1
	18 日(金)	川崎市立金程小学校　特別支援級	
		川崎市立真福寺小学校	6
		川崎市立富士見台小学校	6
	22 日(火)	川崎市立金程小学校	4
		町田市立三輪小学校	6
		川崎市立西丸子小学校	4
		川崎市立平間小学校	6
1 月	8 日(金)	川崎市立三田小学校	4
		横浜市立谷本小学校	3
	13 日(水)	まんまる保育園	
		川崎市立井田小学校	4
	14 日(木)	つぼみ幼稚園	
		横浜市立嶮山小学校	3
	19 日(火)	横浜市立十日市場小学校	3
		洗足学園小学校	3
		川崎市立百合丘小学校	6
		横浜市立万騎が原小学校	3
	20 日(水)	トキワ松学園小学校	4
	26 日(火)	つぼみ幼稚園	
		川崎市立聾学校	6
		川崎市中部児童相談所	
	27 日(水)	神奈川県立生田高等学校	1
	28 日(木)	つぼみ幼稚園	
		横浜市立中川西小学校	3
	29 日(金)	YMCA たかつ保育園	
		川崎市立上作延小学校	4
2 月	2 日(火)	横浜市立鴨志田緑小学校	3
		若竹幼稚園	
		川崎市立西梶ヶ谷小学校	6
	4 日(木)	川崎市立宮前小学校	4
		川崎市立東住吉小学校	4
	5 日(金)	春光保育園	
		初山幼稚園	
		川崎市立西菅小学校	4
	9 日(火)	柿の実幼稚園	
		川崎市立東柿生小学校	4
		川崎市立稗原小学校	6
	10 日(水)	アスク新百合ヶ丘保育園	
		横浜市立藤が丘小学校	3
	16 日(火)	柿の実幼稚園	
		川崎市立犬蔵小学校	6
		小田急ムックたんぽぽ園	
		田園調布学園大学みらいこども園	
	17 日(水)	横浜隼人幼稚園	

3月	1日(火)	柿の実幼稚園	
		川崎市立菅生中学校	3
	4日(金)	すみれが丘幼稚園	
		新鶴見にこにこ保育園	
		調布市立富士見台小学校　特別支援級	
		武蔵中原もりのこ保育園	
	8日(火)	小学館アカデミーしんかわさき保育園	
		青葉幼稚園	
		川崎市立平中学校	3
	10日(木)	キッズフォレ長津田	
		さくらの木保育園	
		向丘保育園	
		川崎市立東住吉小学校	6
		東京都大田区立入新井第一小学校	6
	15日(火)	蟹ヶ谷保育園	
		桐光学園小学校	4
		白山保育園	
	23日(水)	レッツ・び一久本保育園	
		宮前平もりのこ保育園	
		小田急ムック新百合ヶ丘園	
		中野島フレンズ保育園	
		南菅生保育園	
利用団体数：289団体、利用者数：23,697人			

（3）科学

①　川崎市小学校理科優秀作品展

小学校児童の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の小学生が、夏休みを中心に取り組んだ理科自由研究の中から、優秀であると認められた作品(各区の市長賞受賞作品)を展示した。

開催期間：　12月2日（水）～12月27日（日）

担当職員：　大泉文人

②　川崎市中学校理科優秀作品展

中学校生徒の今後の理科学習への意欲・関心喚起を目的として、川崎市内の中学生が取り組んだ理科研究作品の中から、優秀であると認められた作品(川崎市中学校理科作品展金賞受賞作品及び日本学生科学賞神奈川県作品展特別賞受賞作品)を展示した。

開催期間：　平成28年1月6日（水）～1月31日（日）

担当職員：　大泉文人

4　教育普及事業

（1）自然

①　子どものための昆虫学教室／子どものための植物学教室

自然豊かな生田緑地をフィールドに、昆虫と植物の観察・学習を通じて自然と触れ合い、自然への理解・関心の促進を図った。各回のテーマを決め、それぞれ年3回実施した。

対　　象　　小学4年生～6年生
定　　員　　20名
講　　師　　永井一雄　川島逸郎
担当職員　　永井一雄　川島逸郎　堀内慈恵

活動日	活動場所	内　　容	参加人数
5月24日（日）	館内（実験室）	子どものための昆虫学教室: 第１回「昆虫の系統と形態を知ろう」	20
6月28日（日）	館内（実験室） 生田緑地	子どものための昆虫学教室: 第2回「昆虫の生活を知ろう・野外観察」	19
7月26日（日）	館内（実験室）	子どものための昆虫学教室: 第3回「昆虫の標本をつくってみよう」	12
8月31日（日）	館内（実験室）	子どものための植物学教室: 第1回	12
9月27日（日）	館内 生田緑地	子どものための植物学教室: 第2回	10
10月25日（日）	館内 生田緑地	子どものための植物学教室: 第3回	10
		合計	83

②　自然観察会

自然への理解促進を目的として、子どもから大人までを対象とした観察会を実施した。

対　　象　　小学生以上
担当職員　　川島逸郎　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

開催日	内　　容	場　　所	講　　師	参加人数
10 月 12 日（月・祝）	秋の自然観察会	多摩川河川敷（登戸付近）	科学館職員（川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵）	23
2月28日（日）	冬の自然観察会	多摩川河川敷（登戸付近）	科学館職員（川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵）	26
			合計	49

③　自然ワークショップ

生田緑地の自然を題材に 10～15 分程度でできる観察・工作等の体験学習事業。事前申込なしに自由参加できる形とした。

対　　象　　子ども～成人
担当職員　　川島逸郎　柳下庸子　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

開催日	内　　容	参加人数
4月12日（日）	葉脈標本をつくろう	78
5月10日（日）	葉っぱにさわってみよう	110
6月14日（日）	昆虫の体をアップで見てみよう	82
7月12日（日）	ダンゴムシをよく見よう	100
8月23日（日）	水の中の生きもの（「サマーミュージアム」関連行事）	200
9月23日（水）	科学館でかわさきの自然体験！（「自然体験のつどい」関連行事）	117
10月10日（日）	木の実草の実	50
11月8日（日）	「紅葉」のカードをつくろう	53
12月13日（日）	鳥ずかんをつくろう	30
1月10日（日）	だれの羽？どこの羽？ 鳥のはねをかんさつしよう	85
2月14日（日）	冬芽をかんさつしよう	65
3月13日（日）	早春の植物 ～春の百草～	60
	合計	1,030

④　生田緑地観察会

自然への関心促進を目的として、生田緑地をフィールドに、誰もが気軽に参加できる観察会を実施した。

対　　象　　子ども～成人
場　　所　　生田緑地
講　　師　　特定非営利活動法人 かわさき自然調査団

開催日	観察内容	講師（ガイド）	参加人数
4月 5日（日）	植物	かわさき自然調査団　植物班	雨天中止
4月19日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	22
4月26日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	43
5月 3日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　植物班	49
5月10日（日）	土壌動物	かわさき自然調査団　土壌動物班	30
5月17日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	23
6月 7日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	49
6月14日（日）	クモ	かわさき自然調査団　クモ班	15
6月21日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団　シダ植物班	雨天中止
7月 5日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	雨天中止
7月12日（日）	昆虫（夜間）	かわさき自然調査団　昆虫班	47
7月19日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	24
8月 2日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	22
8月 9日（日）	昆虫	かわさき自然調査団　昆虫班	43
8月23日（日）	地層	かわさき自然調査団　地学班	16
9月 6日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	40
9月13日（日）	キノコ	かわさき自然調査団　キノコ班	65
9月20日（日）	土壌動物	かわさき自然調査団　土壌動物班	9
10月 4日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　植物班	42
10月11日（日）	クモ	かわさき自然調査団　クモ班	雨天中止
10月18日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	16
11月 1日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	35
11月 8日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団　シダ植物班	雨天中止
11月15日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	13
12月 6日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	52
12月13日（日）	冬の蛾	かわさき自然調査団　昆虫班	雨天中止
12月20日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	82
1月10日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	25
1月17日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	80
1月24日（日）	地層	かわさき自然調査団　地学班	18
2月 7日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	37
2月14日（日）	シダ植物	かわさき自然調査団　シダ植物班	雨天中止
2月21日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	55
3月 6日（日）	種子植物	かわさき自然調査団　種子植物班	36
3月13日（日）	里山の自然	かわさき自然調査団　水田ビオトープ班	19
3月20日（日）	野鳥	かわさき自然調査団　野鳥班	48
		合計	1,055

⑤　初心者のための植物観察講座

身近にある植物の名を知りたい、ハイキングで見かけた植物を知りたいなど、植物に興味はあるが、名前の調べ方が分からない、図鑑を見ても区別がつかない、植物ともっと付き合いたいといった市民向けの全 3 回の講座。毎回、室内講義および野外観察を併せて実施した。

対　　象　　高校生以上・3 回とも参加できる方
定　　員　　20 名
場　　所　　川崎市青少年科学館（室内講義）・生田緑地（野外観察）
講　　師　　永井一雄（科学館職員）
担当職員　　永井一雄　堀内慈恵

開催日	内容	講師	人数
5月16日（土）	室内講義（基本的な形態）・野外観察（観察方法）	永井一雄（科学館職員）	27

5月30日（土）	室内講義（植物の形態）・野外観察	永井一雄（科学館職員）	24
6月13日（土）	室内講義（同定方法）・野外観察	永井一雄（科学館職員）	22
		合計	73

⑥　地層観察

生田緑地に見られる「飯室層（泥岩層)」、「おし沼砂れき層」、「多摩ローム層」、「立川ローム層」および「飯室層・おし沼砂れき層間の不整合」といった露頭の観察をとおして、地層の成り立ちについて学習するプログラムを、主に小学６年生の理科授業の一環として行った。

担当職員　川島逸郎　大泉文人　柳下庸子　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

開催日	学校名	人数
6月 5日(金)	お茶の水女子大学附属中学校　２年	126
6月19日(金)	川崎市立古川小学校	90
7月14日(火)	神奈川県立希望ヶ丘高等学校（定時制）　３年	7
8月 5日(水)	東京都江東区第三砂町中学校理科部　※	3
9月 4日(金)	川崎市立宮内小学校	143
9月 8日(火)	大田区立萩中小学校	70
9月15日(火)	川崎市立戸手小学校	132
9月25日(金)	川崎市立下作延小学校	77
10月 2日(金)	川崎市立藤崎小学校	122
10月 2日(金)	川崎市立白幡台小学校	61
10月 6日(火)	大田区立嶺町小学校	121
10月16日(金)	川崎市立柿生小学校	124
10月23日(金)	川崎市立大戸小学校	149
10月27日(火)	川崎市立夢見ヶ崎小学校	57
10月27日(火)	川崎市立南百合丘小学校	110
10月30日(金)	川崎市立今井小学校	143
11月 6日(金)	川崎市立末長小学校	159
11月10日(火)	川崎市立鷺沼小学校	133
11月13日(金)	川崎市立南生田小学校	167
11月17日(火)	川崎市立はるひ野小学校	175
11月20日(金)	川崎市立上丸子小学校	96
11月27日(金)	川崎市立麻生小学校	181
12月 1日(火)	川崎市立三田小学校	118
12月 4日(金)	川崎市立大谷戸小学校	211
12月 8日(火)	川崎市立片平小学校	117
12月11日(金)	川崎市立千代ヶ丘小学校	92
12月11日(金)	カリタス女子中学校　３年	189
12月15日(火)	川崎市立宿河原小学校	122
12月15日(火)	川崎市立中野島小学校	163
12月18日(金)	川崎市立富士見台小学校	147
12月22日(火)	町田市立三輪小学校	107
12月22日(火)	川崎市立平間小学校	60
1月 8日(金)	川崎市立下布田小学校	86
1月15日(金)	川崎市立中原小学校	115
1月15日(金)	川崎市立下沼部小学校	93
1月19日(火)	川崎市立百合丘小学校	78
1月19日(火)	川崎市立西菅小学校	45
1月22日(金)	川崎市立殿町小学校	104
1月26日(火)	川崎市立聾学校	4
2月 2日(火)	川崎市立西梶ヶ谷小学校	62
2月 9日(火)	川崎市立稗原小学校	95
2月 9日(火)	川崎市立南原小学校	61

2月16日(火)	川崎市立犬蔵小学校	130
3月 1日(火)	桐光学園小学校	76
合計	利用校数　44 校	4, 721 人

※8 月 5 日(水)の 東京都江東区第三砂町中学校理科部は、夏期休業期間中の実施。

なお、他にも大学などの要請により、生田緑地において見られる地層の解説を行った。

9月27日(日)	専修大学ネットワーク情報学部ネットワーク情報学科	42
	合計	42

⑦　林の観察

生田緑地の樹林における季節ごとの動植物の観察を、理科の学習の一環として行った。

担当職員：　川島逸郎　大泉文人　柳下庸子　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

開催日	学校名	人数
7月10日（金）	聖ヨゼフ学園中学校（中 1）	61
10月20日（火）	横浜市立黒須田小学校（小 3）	105
11月20日（金）	川崎市総合教員センター　教育相談センター　ゆうゆう広場	94
12月 8日（火）	マリア・モンテッソーリ・エレメンタリースクール（小 1～2）	30
3月 8日（火）	川崎市立南菅小学校（小 1）	42
合計	5 団体	332

⑧　総合的な学習の時間における学習支援

生田緑地にすむ生き物（植物、昆虫、野鳥など）についての解説を、総合的な学習の時間の学習支援として行った。

担当職員：　川島逸郎　大泉文人　柳下庸子　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

開催日	学校名	人数
6月23日（火）	川崎市立登戸小学校（植物）	120
9月 2日（水）	川崎市立稲田中学校（地域インタビュー）	7
9月29日（火）	川崎市立登戸小学校（植物・昆虫・野鳥・他）	119
10月 2日（金）	川崎市立金程中学校（植物・地層・動物）	14
合計	4 校	260

※また、これ以外に、7 月 30 日（木）に、川崎市立菅中学校・科学部 4 名による施設見学・解説を実施した。

（２）天文

①　星を見る夕べ

星を身近に感じ親しむことを目的として、平成 27 年度は 12 回開催した。

土曜日の夕方から約 30 分間、プラネタリウムで星座の位置や探し方を紹介した後、屋上と天体観測室（アストロテラス）で肉眼による星座の観察と、天体望遠鏡を使った月・惑星・星雲・星団・二重星の観望を行った。

対　　象　　どなたでも

担当職員　　弘田澄人　大泉文人　佐藤幹哉　成瀬裕子　國司 眞

開催日	内容	参加人数
4月11日（土）	中止	0
4月25日（土）	中止	0
5月 9日（土）	中止	0
5月23日（土）	中止	0
6月13日（土）	中止	0
6月27日（土）	中止	0
7月11日（土）	土星、ベガ、プルケリマ	229
7月25日（土）	土星、月	291
8月 8日（土）	中止	0

8月22日（土）	土星、アルビレオ、月	220
8月23日（日）	プラネタリウム解説のみ　※サマーミュージアムのための臨時開催	53
9月12日（土）	アルビレオ、M57	200
9月26日（土）	中止	0
10月10日（土）	中止	0
10月24日（土）	海王星、アルビレオ、月	114
11月14日（土）	中止	0
11月28日（土）	天王星、アルビレオ、M31	217
12月12日（土）	アルマク、M45、カペラ	105
12月26日（土）	アルマク、ｈχ、M45	143
1月9日（土）	天王星、M42、M45	128
1月23日（土）	中止	0
2月13日（土）	月	62
2月27日（土）	M42、M45、ベテルギウス	155
3月12日（土）	中止	0
3月26日（土）	木星、ベテルギウス、M42	100
	合計	2,017

② 皆既月食観察会

望遠鏡や双眼鏡による皆既月食の観察会を計画したが、曇天のため中止した。

開催日時　　4 月 4 日（土）18:30～21:10
対　　象　　どなたでも

③ かわさき星空ウォッチング

学校や地域団体等の依頼により科学館の望遠鏡や双眼鏡を会場に運び、楽しみながら宵空の星座や月・惑星などを観察する機会を提供した。

担当職員：　國司 眞　弘田澄人　大泉文人　佐藤幹哉　成瀬裕子

開催日	主催団体（会場）	参加人数	備　　考
5 月 23 日(土)	カーボンチャレンジ等々力エコ暮らしこフェア（等々力緑地）	248	
7 月 14 日(火)	川崎市立川中島中学校区地域教育会議（川崎市立川中島中学校）	234	
7 月 16 日(木)	川崎市立久本小学校	0	悪天候のため中止
7 月 25 日(土)	民家園通り商店会・夏祭り	300	
7 月 29 日(水)	川崎市環境総合研究所	57	
8 月 6 日(木)	川崎市幸市民館（川崎市立小倉小学校）	52	
8 月 7 日(金)	川崎市幸市民館（川崎市立古市場小学校）	0	悪天候のため中止
8 月 19 日(水)	川崎市立王禅寺中央小学校 PTA（川崎市立王禅寺中央小学校）	0	悪天候のため中止
8 月 21 日(金)	川崎市立西有馬小学校	172	
10 月 9 日(金)	枡形こども文化センター・他（かわさき宙と緑の科学館・アストロテラス）	93	科学館にて実施
10 月 20 日(火)	川崎市立夢見ケ崎小学校	0	悪天候のため中止
10 月 30 日(金)	川崎市立東柿生小学校	0	悪天候のため中止
11 月 12 日(木)	川崎市立虹ヶ丘小学校	0	悪天候のため中止
11 月 13 日(金)	川崎市立長沢中学校区地域教育会議（川崎市立長沢小学校）	0	悪天候のため中止
11 月 17 日(火)	川崎市立西野川小学校	0	悪天候のため中止
11 月 19 日(木)	川崎市立夢見ヶ崎小学校	0	悪天候のため中止
11 月 20 日(金)	川崎市立西菅小学校 PTA	172	星空解説のみ

12 月 11 日(金)	川崎市立平間中学校区地域教育会議 （川崎市立古市場小学校）	250	星座解説のみ
12 月 12 日(土)	日本気象予報士会神奈川支部 （かわさき宙と緑の科学館・アストロテラス）	41	科学館にて実施
12 月 15 日(火)	高津第三地区社会福祉協議会 （川崎市立東高津小学校）	317	
12 月 18 日(金)	川崎市立久末小学校	130	
12 月 22 日(火)	川崎市立王禅寺中央小学校 PTA （川崎市立王禅寺中央小学校）	150	
1 月 8 日(金)	川崎市立橘高校天文科学部 （かわさき宙と緑の科学館・アストロテラス）	22	科学館にて実施
1 月 14 日(木)	川崎市立長尾小学校ＰＴＡ成人教育委員会 （川崎市立長尾小学校）	130	
1 月 15 日(金)	寺子屋西生田（川崎市立西生田小学校）	135	
1 月 22 日(金)	川崎市立住吉小学校	118	
1 月 29 日(金)	川崎市環境総合研究所	0	悪天候のため中止
1 月 30 日(土)	神奈川県立多摩高校地学部 OB 会 （かわさき宙と緑の科学館・アストロテラス）	0	悪天候のため中止
2 月 2 日(火)	川崎市立西野川小学校	0	主催団体の都合により中止
2 月 5 日(金)	川崎市立宮崎台小学校	90	
2 月 16 日(火)	私立洗足学園小学校	120	
2 月 19 日(金)	川崎市立川中島中学校区地域教育会議 （川崎市立藤崎小学校）	111	
		合計	2,942

④　天文サポーター研修会

「星を見るタベ」等の観察会参加者に星空の美しさを伝える、天文サポーターの資質向上のため研修会を実施した。

担当職員　　弘田澄人　大泉文人　佐藤幹哉　成瀬裕子　國司 眞

	講座日程	時間	講座内容	人数
第１回	6月 6日（土）	18:00～20:00	夏の星空解説方法と木星、金星の撮影	10
第２回	8月29日（土）	18:00～20:00	秋の星空解説方法と土星の撮影	15
第３回	10月31日（土）	17:00～19:00	冬の星空解説方法と M31 の撮影	13
第４回	2月 6日（土）	17:00～19:00	春の星空解説方法と M42 の撮影	15
			合計	53

⑤　星空教室

星空の美しさや宇宙の不思議について学ぶ教室を実施した。

対　　象　　小学生以上

担当職員　　弘田澄人　佐藤幹哉　成瀬裕子　國司 眞

	講座日程	時間	講座内容	人数
第１回	5月16日（土）	15:00～18:00	「太陽を観察しよう」 講師：日食情報センター　塩田和生	19
第２回	7月18日（土）	18:30～20:30	「土星と金星を観察しよう」	12
第３回	9月19日（土）	15:30～17:30	「夏の星雲・星団」 講師：はまぎんこども宇宙科学館　亀岡千佳子	19
第４回	11月21日（土）	18:00～20:00	「月の観察」	26
第５回	1月16日（土）	18:00～20:00	「冬の星雲・星団」 講師：天体写真家　中西昭雄	23
第６回	3月19日（土）	18:30～20:30	「恒星のスペクトル」	17
			合計	116

⑥　プラネタリウムコンサート
プラネタリウムの中で、満点の星空と音楽を楽しむコンサートを実施した。

開催日	内容：タイトル	出演者	人数
7月21日（月）	プラネタリウムコンサート 夏の思い出・星空のコーラス	西六郷鎌田記念合唱団	113
12月23日（水）	プラネタリウムコンサート クリスマスの星空とチェロの調べ	東京交響楽団主席チェロ奏者 伊藤文嗣	183
		合計	296

⑦　天文講演会
最先端の宇宙科学や注目の天文現象について、専門家から話を聞く講演会を実施した。

開催日	タイトル	講師	人数
11月15日（日）	宇宙へのアプローチ 光速度による月から宇宙の果てまで	プラネタリウム弁士 河原郁夫	141
2月20日（土）	月の影を追って 日食観測の楽しみ	日食情報センター 大越 治	65
3月5日（土）	岡本太郎と宇宙	川崎市岡本太郎美術館 仲野泰生	127
		合計	333

⑧　アストロテラス公開
自然学習棟３階のアストロテラスにて、昼間の天体観察会を行った。

公開日	時間	観察する天体
平日（休館日を除く）	14:00～14:45	太陽、惑星（金星）、明るい恒星等
土日祝日	11:00～11:45 14:00～14:45	

⑨　子どもプラネタリウム番組制作教室
プラネタリウムや宇宙に興味を持つ子どもたちが参加し、プラネタリウムの番組を制作し、発表する教室を実施した。
対　　象　　小学４年生～中学生
担当職員　　弘田澄人　佐藤幹哉　成瀬裕子　國司 眞

	講座日程	時間	講座内容	人数
第１回	6月 7日（日）	15:00～17:00	自己紹介、番組内容の話し合い、プラネタリウム見学。	11
第２回	6月21日（日）	15:00～17:00	番組のアイデア出し、プラネタリウム投影機操作練習。	12
第３回	7月 5日（日）	15:00～17:00	アイデアを基に番組構成と班分け。興味のある天体の抽出。	11
第４回	7月19日（日）	15:00～17:00	各班に分かれシナリオの検討、プラネタリウム投影機操作練習。	11
第５回	8月 2日（日）	15:00～17:00	シナリオの読み込み。プラネタリウム投影機操作練習。	11
第６回	8月30日（日）	15:00～17:00	シナリオ読み合わせ及び検討。プラネタリウム投影機操作練習。	10
第７回	9月 6日（日）	15:00～17:00	シナリオ読み合わせ。解説図・創作星座の制作。プラネタリウム投影機操作練習。	12
第８回	9月20日（日）	15:00～17:00	シナリオ最終読み合わせ。プラネタリウムでリハーサル。	10
第９回	10月 4日（日）	15:00～17:00	学習室で最終リハーサル。プラネタリウムで作品発表投影　（一般入館者 188 名）	12
				合計 100

（3）科学

① わくわく科学実験教室

科学館とかわさきアトム工房の協働事業として、わくわくドキドキするような実験や工作を行う教室を開催した。

対　　象：　小学生１年生～6 年生
講　　師：　かわさきアトム工房

開催日	内　　容	参加人数
4月11日（土）	光のふしぎ	19
5月 9日（土）	空気の力	26
6月13日（土）	活性炭電池を作ろう	22
7月11日（土）	動く絵のふしぎ	26
9月12日（土）	スチロールカッターで手形つくり	25
10月10日（土）	ハーフミラー	22
11月14日（土）	光のクリスマスツリー	30
12月12日（土）	ハニカム構造	26
1月 9日（土）	氷の世界をさぐろう	27
2月13日（土）	むしめがねで光をあつめよう	24
3月12日（土）	音・おとあそび（スプーンベル）	26
	合計	273

② 実験工房

１回 10～15 分程度でできる工作･実験等の体験学習事業。事前申込なしに自由参加できる形とした。

講　　師：　科学実験教室サポーター・くじら（第１土曜日）　かわさきアトム工房（第２・４土曜日）
トラボクラブ（第３土曜日）　サイエンスちゃれんじ・チーム（祭日）　チーム・コスモス（祭日）
担当職員：　川島逸郎　大泉文人　柳下庸子　高梨沙織（上記以外の回）

開催日	内　　容	参加人数	開催日	内　　容	参加人数
4月 4日（土）	飛ぶコマ	140	4月25日（土）	バランストンボ	40
4月11日（土）	絵変わりカードを作ろう	57	4月29日（水・祝）	ストロートンボ	120
4月18日（土）	飛ぶものの科学	90			

5月 2日（土）	空気ロケット	170	5月 9日（土）	ガリガリプロペラ	97
5月 3日（日）	声をかけると踊りだす人形	150	5月16日（土）	ふわふわボール	30
5月 4日（月）	浮かべてスイスイ	110	5月23日（土）	アルソミトラの種	80
5月 5日（火）	Ｘジャイロ	256	5月30日（土）	ストロー飛行機	177
5月 6日（水）	ミニからくりびょうぶ	64			

6月 6日（土）	カラフルカプセルをつくろう	121	6月20日（土）	絵が消える！	83
6月13日（土）	不思議な棒	47	6月27日（土）	絵代わりカード	63

7月 4日（土）	パラシュート	80	7月20日（月・祝）	ぶんぶんゴマ	115
7月11日（土）	ブーブー笛	81	7月25日（土）	かたちであそぼう	30
7月18日（土）	がりがりトンボ	42			

8月 1日（土）	虹の箱	77	8月22日（土）	アルソミトラの種を飛ばそう	50

8月15日（土）	ふしぎな船	72	8月29日（土）	チビブーメランを飛ばそう	79

9月 5日（土）	グライダー	110	9月21日(月・祝)	虹の 3D 万華鏡を作ろう	160
9月12日（土）	クルクルくるり	72	9月22日(火・祝)	ふきごま	90
9月19日（土）	うんちになろう！	72	9月26日（土）	レインボーごま	45

10月3日（土）	風で旅する種～風にのる様々な工夫～	160	10月17日（土）	吹きゴマ	47
10月10日（土）	やじろべえ	30	10月24日（土）	鉄棒人形	73
10月12日（土・祝）	空気ロケット	295	10月31日（土）	かさ袋ロケット	85

11月3日(月・祝)	3D メガネを作って動画を見よう！	100	11月21日(土)	プラトンボを飛ばそう！	140
11月7日（土）	ミニたこ	110	11月23日(月・祝)	紙笛を作ろう	161
11月14日（土）	クルクルマグネット	27	11月28日(土)	ふきゴマ	27

12月5日(土)	磁石のクリスマスツリー	100	12月23日（水・祝）	ファイバーライト	65
12月12日(土)	くるくる傘車	192	12月26日（土）	コップを飛ばして遊ぼう	80
12月19日(土)	ブンブンごまで色を楽しむ	48			

1月9日(土)	紙コップロケットを作ろう	50	1月23日（土）	トコトココップ	15
1月11日(土・祝)	ダンシング・スネーク	188	1月30日（土）	くるくるくらげ	50
1月16日(土)	空飛ぶ不思議な車	75			

2月 6日（土）	紙コップクラッカー	61	2月20日（土）	リンググライダー	48
2月11日（木・祝）	うき玉で遊ぼう	278	2月27日（土）	折りコマ	35
2月13日（土）	変身カード	46			

3月 5日（土）	マユダマ、ニュートンのレール、コロコロ車	86	3月21日（土）	よく飛ぶ紙トンボ	120
3月12日（土）	絵が動く！？カード作り	51	3月26日（土）	コマで遊ぼう	60
3月19日（土）	マグネット・スピン	52			

合計　65 講座　6,025 人

③　発明教室

子どもの創造性を伸ばすことを目的に、一人ひとりが作りながら考えるものづくり体験学習教室として実施した。

対　　象：　小学４年生～中学生
講　　師：　川崎少年少女発明クラブ
担当職員：　大泉文人

開催日	内　　容	参加人数
6月14日（日）	開校式　身のまわりのプラスチックを調べて、プラ板のキーホルダーを作ろう	28
7月19日（日）	発電機をつくろう	23
9月 6日（日）	ペットボトルで作るビー玉落としゲーム	23
9月13日（日）	ちえの輪を作ろう	25
10月18日（日）	磁石を使ったおもちゃ作りをしよう	17
11月 1日（日）	アクリルを使ってモビールを作ろう	20
11月 8日（日）	光のふしぎ箱を作ろう	18
11月15日（日）	アニメーションを作ろう	20
11月29日（日）	ダイヤだこを作って連だこにチャレンジしよう	17
12月 6日（日）	3D ボックスをつくろう	24
12月13日（日）	くつ下で人形を工夫	18

1月17日（日）	切って、折って、あっ飛び出した	16
1月24日（日）	アクリルを使って写真立てを作ろう	12
2月 7日（日）	リニアモーターカーを作ろう	24
2月14日（日）	閉校式　発光ダイオード電池を作ろう	24
	合計	309

④　出前科学実験教室

かわさきアトム工房が、実施団体から依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」を使った出前実験を行った。

担当職員：　大泉文人、柳下庸子

日　付	実施団体	内　　容	人数
4月20日(月)	川崎市立菅生中学校	かわさき自然ロケ隊	200
5月25日(月)	川崎市立宮内小学校わくわくプラザ	水性ペンでしおり作り	45
5月25日(月)	川崎市立宮前平小学校わくわくプラザ	目のふしぎ	31
6月17日(水)	川崎市立中野島小学校わくわくプラザ	科学マジック	95
6月24日(水)	川崎市立有馬小学校わくわくプラザ	目のふしぎ	69
7月 3日(金)	ワオキッズ南加瀬園	科学マジック	21
7月 8日(水)	川崎市立東生田小学校わくわくプラザ	音であそぼう	90
7月19日(日)	川崎市立南百合丘小学校 PTA	音であそぼう	69
7月22日(水)	川崎市立千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	音であそぼう	55
7月22日(水)	川崎市立千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	サッカーボールをつくろう	
7月24日(金)	よつばクラブ（低学年）	科学マジック	28
7月24日(金)	川崎市立土橋小学校	空気を感じよう	77
7月26日(日)	川崎市立東柿生小学校 PTA	磁石－ダンシングアニマル－	151
7月26日(日)	川崎市立東柿生小学校 PTA	鏡－マジック貯金箱－	
7月27日(月)	よつばクラブ（中学年）	虹をつくろう	12
8月 6日(木)	川崎市幸市民館日吉分館	水性ペンでしおり作り	34
8月 6日(木)	川崎市幸市民館日吉分館	鏡－万華鏡－	
8月 8日(土)	かわさきサイエンスチャレンジ（KSP）	磁石－ダンシングアニマル－	80
8月 8日(土)	かわさきサイエンスチャレンジ（KSP）	レーウェンフックの顕微鏡	79
8月 9日(日)	かわさきサイエンスチャレンジ（KSP）	磁石－ダンシングアニマル－	80
8月 9日(日)	かわさきサイエンスチャレンジ（KSP）	レーウェンフックの顕微鏡	80
8月23日(日)	有馬・野川生涯学習支援施設「アリーノ」	科学マジック	100
9月 1日(火)	川崎市立橘中学校	超低温の世界	72
9月 1日(火)	川崎市立橘中学校	チリメンモンスターを探せ	
9月 2日(水)	枡形こども文化センター	空気と水	15
9月27日(日)	ザ・タワー＆パークス溝の口	ドライアイスであそぼう	42
9月30日(水)	川崎市立三田小学校わくわくプラザ	科学マジック	91
10月 7日(水)	川崎市立岡上小学校わくわくプラザ	科学マジック	42
10月11日(日)	麻生区民祭	クルクルくるり	120
10月11日(日)	麻生区民祭	クルクルくるり	139
10月17日(土)	川崎市立柿生中学校	くるくるアニメを楽しもう	15
10月17日(土)	川崎市立金程中学校	立体であそぼう －サッカーボールを作るよ－	36
10月18日(日)	川崎市高津図書館	磁石コマ	31
10月24日(土)	川崎市立菅生中学校	立体であそぼう －サッカーボールを作るよ－	27
10月24日(土)	川崎市立菅生中学校	くるくるアニメを楽しもう	22
10月24日(土)	川崎市立南生田小学校 PTA	音であそぼう	72
11月 6日(金)	川崎市立平中学校	超低温の世界	35

11月16日（月）	川崎市立川中島小学校科学クラブ	ドライアイスであそぼう	25
11月16日（月）	川崎市立富士見台小学校わくわくプラザ	レインボーコマ	42
11月30日（月）	川崎市立宮内小学校わくわくプラザ	音であそぼう	42
1月19日（月）	川崎市立藤崎小学校実験クラブ	ドライアイスであそぼう	24
1月21日（水）	川崎市立菅小学校科学クラブ	クリップモーター	33
1月30日（土）	川崎御幸剣友会	モーターを作ろう	23
2月15日（月）	川崎市立虹ヶ丘小学校科学クラブ	虹をつくろう	17
2月17日（水）	川崎市立千代ヶ丘小学校わくわくプラザ	ＣＤコマ	35
2月19日（金）	長尾こども文化センター	アルソミトラの種を飛ばそう	15
2月22日（月）	川崎市立栗木台小学校理科クラブ	ドライアイスであそぼう	37
3月11日（金）	川崎市子ども家庭センター	モーター	24
3月13日（日）	ザ・タワー＆パークス田園都市溝ノ口自治会	虹をつくろう	64
3月19日（土）	川崎市幸市民館日吉分館	空気の力 －ストローコプターを作ろう－	20
3月19日（土）	川崎市幸市民館日吉分館	偏光板で遊ぼう	4
3月28日（月）	川崎市立土橋小学校わくわくプラザ	虹をつくろう	40
		合計	2, 600

⑤ゆうゆう広場科学実験教室

川崎市適応指導教室（ゆうゆう広場）からの依頼を受けて、「ワクワクドキドキ玉手箱」などを使った科学実験教室や出前科学実験教室を行った。

講　　師：　トラボクラブ（網倉聖子 氏）
担当職員：　大泉文人

開催日	実施団体	会　　場	内　　容	人数
5月12日（火）	ゆうゆう広場・みゆき	かわさき宙と緑の科学館	重曹とクエン酸を使ったラムネ菓子とパブ作り	6
5月13日（水）	ゆうゆう広場・さいわい	かわさき宙と緑の科学館	重曹を科学する	8
5月19日（火）	ゆうゆう広場・たま	かわさき宙と緑の科学館	重曹を科学しよう！	7
5月20日（水）	ゆうゆう広場・あさお	かわさき宙と緑の科学館	重曹を科学する	6
6月 2日（火）	ゆうゆう広場・なかはら	かわさき宙と緑の科学館		中止
6月 3日（水）	ゆうゆう広場・たかつ	かわさき宙と緑の科学館	重曹とクエン酸の秘密を探る	14
7月 7日（火）	ゆうゆう広場・なかはら	ゆうゆう広場・なかはら	土玉が輝石に？変身？	8
7月 8日（水）	ゆうゆう広場・たま	ゆうゆう広場・たま	光る泥団子をテーマにした体験学習	9
7月14日（火）	ゆうゆう広場・あさお	ゆうゆう広場・あさお	最強の泥団子つくり	7
7月15日（水）	ゆうゆう広場・たかつ	ゆうゆう広場・たかつ	泥団子を造る	12
9月 2日（水）	ゆうゆう広場・さいわい	ゆうゆう広場・さいわい	真球泥だんご	7
9月 3日（木）	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう広場・みゆき	泥団子つくり	7
11月10日（火）	ゆうゆう広場・なかはら	ゆうゆう広場・なかはら	万華鏡づくり	7
11月17日（火）	ゆうゆう広場・あさお	ゆうゆう広場・あさお	鑑の反射と万華鏡	7
11月25日（水）	ゆうゆう広場・さいわい	ゆうゆう広場・さいわい	万華鏡	8
12月 1日（火）	ゆうゆう広場・たかつ	ゆうゆう広場・たかつ	万華鏡	12
12月 8日（火）	ゆうゆう広場・たま	ゆうゆう広場・たま	万華鏡	12

12月15日（火）	ゆうゆう広場・みゆき	ゆうゆう広場・みゆき	万華鏡作り	7
1月19日（月）	ゆうゆう広場・なかはら	かわさき宙と緑の科学館	錯視 ～お猿の不思議な部屋～	10
1月20日（火）	ゆうゆう広場・さいわい	かわさき宙と緑の科学館	錯視	7
1月26日（月）	ゆうゆう広場・あさお	かわさき宙と緑の科学館	錯視を利用した不思議な部屋	7
1月27日（火）	ゆうゆう広場・たま	かわさき宙と緑の科学館	錯視をテーマにした体験学習	12
2月 2日（月）	ゆうゆう広場・たかつ	かわさき宙と緑の科学館	「錯視」お猿のお部屋	12
2月23日（月）	ゆうゆう広場・みゆき	かわさき宙と緑の科学館	錯視	9
			合計	201

⑥　ふしぎ実験室

実験をとおして科学の楽しさを感じさせるとともに、その現象について「考える」ことを大切にした実験教室を開催した。

対　　象：　小学 3～6 年生
講　　師：　科学実験教室サポーター・くじら
担当職員：　柳下庸子

開催日	内　　容	参加人数
5月2日（土）	音の正体をさぐってみよう	24
6月6日（土）	掌サイズでビックリ実験	21
7月4日（土）	星くずの科学～元素のふしぎ～	24
9月5日（土）	飛ぶものの科学	21
10月3日（土）	服は何からできている？	5
11月7日（土）	作って遊ぼう磁石のおもちゃ！！	16
12月5日（土）	天気図を書いてみよう	23
1月16日（土）	かんたん発電機を作る	21
2月6日（土）	静電気の正体をさぐる	7
3月5日（土）	洗剤の科学	6
	合計	168

⑦　大人のための科学実験教室

科学に対して苦手意識をもっている人にも楽しんでもらえるような大人向けの科学講座を開催した。

担当職員：　大泉文人　柳下庸子

開講日	タイトル	講師	参加人数
10 月 4 日（日）	浮くか沈むかでプラスチックの分別実験	勝部寅一 氏 （サイエンスチャレンジチーム）	4
10 月 18 日（日）	泥団子の科学	網倉聖子 氏（トラボクラブ）	20
11月22日（日）	活性炭電池を作ろう！	池田忠俊 氏 （蔵前理科教室ふしぎ不思議）	9
12月 6日（日）	アナログをデジタルで表現しよう！ －アナログ値のデジタル値変換－	古谷睦男 氏 （多摩科学クラブ）	20
1月24日（日）	空気の振動を直接観測しよう －クントの実験－	安井幸夫 氏 （明治大学准教授）	12
		合計	65

⑧　21 世紀子どもサイエンス事業「ワクワクドキドキ玉手箱」

科学を身近に体験できるよう開発された「ワクワクドキドキ玉手箱」（科学実験セット）を活用しな

がら、子どもの科学への関心喚起・促進を図った。

「ワクワクドキドキ玉手箱」利用状況

No..	玉手箱の名称	実施回数	No..	玉手箱の名称	実施回数
1	「光通信」光でモシモシ	0	11	燃焼と爆発	0
2	浮沈子	0	12	大気圧を感じよう	4
3	モーター	3	13	重心であそぼう！	20
4	活性炭電池を作ろう！	1	14	ＤＮＡ	0
5	川崎自然ロケ隊	1	15	熱をだすもの	1
6	飛ぶもの	6	16	真空の科学	0
7	科学マジックショー	37	17	超低温の世界	3
8	君も科学捜査官	2	18	虹をつくろう！	6
9	水ロケットを科学する	0	19	ドライアイスであそぼう！	4
10	鏡を使って遊ぼう	4	20	その他（開発中を含む）	17
				合計	109

⑨　かわさきサイエンスチャレンジ「科学と遊ぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」

「ワクワクドキドキ玉手箱」（前項参照）を活用した子どもの体験学習の機会を増やすため、かわさきサイエンスチャレンジ運営委員会が主催する科学の祭典「かわさきサイエンスチャレンジ」において、「科学とあそぼう！ワクワクドキドキ玉手箱」を開催した。

開 催 日：　8月8日（土）～9日（日）
場　　所：　KSP（かながわサイエンスパーク）西棟1階
講　　師：　かわさきアトム工房　科学実験教室サポーター・くじら　サイエンスちゃれんじチーム
トラボクラブ　蔵前理科教室ふしぎ不思議　科学サポーター研修会受講生
市内小・中学校・高等学校教員　明治大学学生ボランティア
担当職員：　大泉文人　川島逸郎　柳下庸子　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織

内容	参加人数		
	8日	9日	合計
世界で一つだけの花をさかせよう！	80	80	160
ひんやりアイスライムをつくろう！	80	80	160
ストロンボーン（トロンボーン）を作ろう！	80	79	159
ダンシングアニマル	80	80	160
ミクロでさぐる色の不思議（レーベンフックの顕微鏡づくり）	79	80	159
くるくるクラゲ	80	80	160
飛べパラシュート	80	80	160
シュワシュワ入浴剤をつくろう！①	79	80	159
シュワシュワ入浴剤をつくろう！②	79	80	159
“輪ゴムを動力に走りまわる車”を作ろう！	80	80	160
お絵かきコーナー「かわさきぷりんちゃん」	121	125	246
かわさきぷりんちゃんと写真をとろう！	193	131	324
科学マジックショー	139	121	260
合計	1,250	1,176	2,426

⑩　科学サポーター研修会

市民を対象として、子どもたちに科学の楽しさを伝えることのできる指導者を育成するための講座を開講した。研修受講者は、「かわさきサイエンスチャレンジ」において科学実験の実演を行った。

対　　象：　18歳以上（高校生不可）
受 講 生：　16名
講　　師：　網倉聖子 氏（トラボクラブ）　村上千登勢 氏（かわさきアトム工房）　由良文隆 氏（川崎市立菅尾中学校教諭）　館職員
担当職員：　大泉文人

開講日	内容	参加人数
6月21日（日）	ガイダンス、ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介、実験と安全について、実験教室の運営について	18
6月28日（日）	ワクワクドキドキ玉手箱実験紹介、テーマを大切にした実験教室の実際、7 月 13 日の実験教室のプログラム作成	14
7月 5日（日）	実験教室アシスタントの実践、実験教室の反省とサイエンスチャレンジプログラム作成	33※
7月12日（日）	サイエンスチャレンジに向けての実験準備	16
8月 8日（土）	サイエンスチャレンジで実演（1 日目）	8
8月 9日（日）	サイエンスチャレンジで実演（2 日目）	8
9月12日（土）	わくわく科学実験見学、修了式、地域での活動について	13
	合計	110

※7 月 5 日（日）において、科学実験教室「身近な化学反応」を独自開催し、小学生 18 名の参加があった。児童の参加人数を含む。

⑪　出前教室

科学館職員が、実施団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関する題材をテーマに出前教室を行った。

担当職員：　大泉文人　高梨沙織

開催日	実施団体	内容	参加者数
7月22日（金）	川崎市立土橋小学校	にぼしの解剖	33
7月22日（金）	川崎市立土橋小学校	日時計を作ろう！	33
		合計	66

（4）その他

①　夏休み理科教室

小学生の夏休みにあわせて理科教室を行った。

対　　象：　小学生
担当職員：　川島逸郎　弘田澄人　大泉文人　柳下庸子　永井一雄　佐藤幹哉　國司 眞 高梨沙織

開催日	内　　容	参加人数
7月25日（土）	虫の体を拡大してみよう（顕微鏡観察）	13
7月26日（日）	クモの生活	5
7月28日（火）	流れ星を観察しよう	17
7月29日（水）	日時計を作ろう	21
7月30日（木）	宇宙ってどんなところ？	9
7月31日（金）	万華鏡を作ってみよう！	12
	合計	77

②　春休み理科教室

小学生の春休みにあわせて理科教室を行った。
対　　象：　小学生
講　　師：　チーム・コスモス　館職員
担当職員：　柳下庸子　永井一雄　高梨沙織

開催日	内　　容	参加人数
3月26日（土）	アメンボと水	17
3月27日（日）	光のふしぎ～夜暗くなると見えなくなるのはどうして？～	21
3月30日（水）	花のつくり	13
	合計	51

③　サイエンスカフェ「骨・関節の病気と遺伝子の関係」

市民が科学に親しんでもらうことを目的として、理化学研究所横浜研究所との共催により、科学の専門家と参加者が話し合いながら最新の研究にふれる場を提供した。

開 催 日：　平成 28 年 2 月 28 日（日）

参 加 者：　35 名（理化学研究所職員 5 名含む）

講　　師：　稲葉（黄）郁代 氏

（理化学研究所統合生命医科学研究センター／骨関節疾患研究チーム 上級研究員）

担当職員：　大泉文人

④　科学講演会「湯川秀樹・パウリ・ニュートリノ・ノーベル賞」

梶田隆章氏のノーベル賞受賞により、注目されたニュートリノの不思議な性質について学ぶ講演会を実施した。

開 催 日：平成 28 年 1 月 17 日（日）

参 加 者：107 人

講　　師：大阪大学大学院理学研究科教授　浅川正之 氏

担当職員：柳下庸子

⑤　大人のための電子・電気教室「光センサーで遊ぼう！－くるくるアニメを楽しむ－」

大人向けに電子や電気をテーマに取り上げた科学実験教室を実施した。

開 催 日：平成 28 年 3 月 13 日（日）

参 加 者：13 名

講　　師：　太田康和 氏（かわさきアトム工房）

担当職員：大泉文人

5　調査研究事業

（1）第 8 次川崎市自然環境調査報告の発刊

市域の自然環境調査として、生物の同定および生物標本作製および照合を行い、第 8 次自然環境調査報告書を編纂、刊行した。

担当職員　　川島逸郎　堀内慈恵　永井一雄　高梨沙織
調査団体　　特定非営利活動法人 かわさき自然調査団（以下「かわさき自然調査団」）

種子植物	調査・標本作成・同定・収蔵標本整理等	佐崎藤子　佐藤登喜子　佐藤ミツ子　白澤光代　白井美智子　武久春美　谷口紀美代　田渕まこと　富樫慶四郎　西川亜興　林 美幸　増田 将　村井正蔵　吉田多美枝　吉留憲子　渡部富子
シダ植物	調査・標本作成・収蔵標本整理等	岩片紀美子　遠藤継男　大貫はるみ　島津キク江　園田明子　田村成美　長谷川和甫　林 美幸
キノコ	調査・同定・収蔵標本整理等	猪俣千代喜　大野和子　大中睦夫　岡 英雄　杉本 泉　吉田多美枝　柳川睦子　井口良子　大塚 勇
野　鳥	野外調査等	稲澤尚代　上原京子　大塚堅一郎　大橋 毅　大森洋子　景山恵子　金井美智子　倉部昭二　佐々木和子　佐藤裕子　佐野悦子　志村章子　下條喜代子　瀧 孔一　中村亨　平賀政孝　福田公子　松原迪郎　水田茂子　森 佳子
昆　虫	調査・同定・収蔵標本整理等	岩崎信一　岩田正勝　上原京子　佐野悦子　成田和子　中臣謙太郎　野澤興一　雛倉正人　宮内隆夫　横田光邦　山本 晃

地　学	調査・同定等	上西登志子　菊地みどり
水　辺	調査・標本作成・同定等	岩田臣生　岩田芳美　藤間熙子

（２）学芸員・職員等による調査研究

２－１）川崎市青少年科学館紀要 第 26 号掲載

①論文

・きりん座流星群の予報研究 ……佐藤幹哉

・生田緑地のホタル観察記録 第 2 報　付: スジグロボタル 1 齢幼虫の記載
……川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵・柳下庸子・高梨沙織

・川崎市二ヶ領用水に生育する沈水植物について ……(藤間熙子・岩田芳美・岩田臣生)

②記録・報告

・「ほうおう座流星群」に対する川崎市青少年科学館の取組み ……佐藤幹哉

・企画展「箕輪先生の思い出～川崎の星空とともに～」 ……國司 眞

・生田緑地およびその周辺におけるトンボ目の記録（2015 年度）
……川島逸郎・永井一雄・堀内慈恵・高梨沙織

・気象観測記録 ……成瀬裕子

③目録

・川崎市青少年科学館所蔵甲殻類（十脚目）標本目録
…（村山早紀・）柳下庸子・永井一雄・堀内慈恵・高梨沙織・川島逸郎（・佐藤武宏）

・川崎市青少年科学館所蔵両生・爬虫類標本目録
……永井一雄・高梨沙織・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎

・川崎市青少年科学館所蔵クモ目（鋏角亜門クモ綱）標本目録
……永井一雄・高梨沙織・柳下庸子・堀内慈恵・川島逸郎

※(　) 内は職員外

２－２）講演等

①　自然

川島逸郎, 2015a. 講座 平成 27 年度第 3 回「干潟の生きもの観察会（スケッチ講師)」. 川崎市環境総合研究所 1 階セミナー室および多摩川河口干潟, 川崎区（平成 27 年 7 月 1 日).

川島逸郎, 2015b. 講師 平成 27 年度 逗子市立逗子中学校夏季講座「OASIS」(同校構内の生き物観察会および室内講座）. 逗子中学校, 逗子市（平成 27 年 8 月 4 日）

川島逸郎, 2015c. 特別講演「昆虫を描いて 40 年 ~私の標本画修行~」 神奈川県立生命の星・地球博物館 2015 年度特別展 特別講演会. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原市（平成 27 年 8 月 1 日).

川島逸郎, 2015d. 講座 平成 27 年度第 5 回「干潟の生きもの観察会（スケッチ講師)」. 川崎市環境総合研究所 1 階セミナー室および多摩川河口干潟, 川崎区（平成 27 年 8 月 13 日).

川島逸郎, 2015e. 講演「私の標本画修行」. 第 65 次三浦半島地区教育研究集会. 5. 理科教育. 横須賀市立横須賀総合高等学校, 横須賀市（平成 27 年 10 月 10 日).

②　天文

弘田澄人,2015a. 研究発表 「全国プラネタリウム大会・前橋 2015」　ステラドームスクールの活用（平成 27 年 6 月）

佐藤幹哉,2015b. 研究発表 「日本公開天文台協会 全国大会」　皆既月食観察会における皆既月食の色の観察　岐阜市（平成 25 年 6 月）

國司　眞,2015c. 講師 「日本プラネタリウム協議会 九州ブロックワーキンググループ研修会」(平成 27 年 10 月）

佐藤幹哉,2015d. 研究発表 「日本天文学会 春季年会」　かわさき宙と緑の科学館で捉えた「はやぶさ２ 地球スイングバイ」首都大学東京（平成 28 年 3 月）

（３）生田緑地およびその周辺のトンボ相調査

平成 26 年度から開始した、生田緑地およびその周辺地域のトンボ相調査を、平成 27 年度も継続して実施した。種によって多様な水系に生息するトンボ類は、地域の水系（陸水）環境のありさまを直接的に反映するため、環境指標として有効な分類群である。この 2 年度における調査の結果、とりわけ生田緑地に関しては、トンボ類の生息状況をあらかた把握でき、水系環境の現状を知ることができた。これらの結果は、当館紀要の第 25 号および 26 号において公表した。以降も、継続して調査を実施する予定である。

（４）生田緑地のホタル科調査

当館紀要の第 4 号 (平成 5 年) において、当時の館事務職員であった木下あけみにより「生田緑地のホタル観察記録」が報告されている。それを継承する形で、平成 27 年 5 月 15 日 (金) ～6 月 30 日 (火) の期間に、自然班職員により、生田緑地内のホタル科 (陸生種) の生息状況調査を実施した。その結果、3 種については、現在の生息状況の一端を把握できたため、川崎市青少年科学館紀要の第 26 号において、木下 (1993) の第 2 報として、その概要を報告した。そのうち、生田緑地を特色づける湿地性の 1 種、スジグロボタル *Pristolycus sagulatus* Gorham, 1883 については、これまで未知であった 1 齢幼虫の外部形態を記載した。

（５）生田緑地産ホトケドジョウ人工飼育・増殖研究（委託）

全国的にも激減し、神奈川県 RDB 2006 においても絶滅危惧 1B 類に指定されているホトケドジョウの、生田緑地産個体群の系統（遺伝子）保存のため、神奈川県水産技術センター内水面試験場に人工飼育・増殖研究を委託した。

（６）他機関における標本調査

以下の研究機関に収蔵されている、標本（自然史）資料の調査を実施した。

The Natural History Museum (BMNH) (英国自然史博物館, London)

神奈川県立生命の星・地球博物館 (KPM) (小田原市)

（７）太陽系天体の観測

明治大学との連携による木星の分光観測を天体観測室の 40 cm 反射望遠鏡を使用して実施した。小惑星探査機はやぶさ２の観測を天文サポーターとともにアストロテラスにて実施した。

（８）川崎市域の星の見え方調査

環境省によって実施されていた「全国星空継続観察」を引き継ぐ形で、夏季と冬季に写真撮影による星の見え方調査を実施した。また、天文サポーター及びインターネットを通じた市民参加により、市内複数箇所におけるデータ収集を実施した。

（９）気象観測

自然学習棟の玄関横に設置した気象観測装置を通年運用し、気温、気圧、風向、風力、降水量を連続観測した。気象情報は視覚化し展示室にリアルタイムで掲示し、データを保存した。

６　資料収集・保管事業

（１）分類群ごとの標本製作

脊椎動物では、哺乳類 3 点および鳥類 8 点の剥製（本剥製）標本を製作したほか、種子植物 1,887 点、シダ植物 45 点のさく葉標本を作製した。このほか、常設展示および自然ワークショップ等の普及行事で使用するための昆虫標本を作製した。生田緑地を中心とした市域の昆虫類その他の分類群も、昨年度より採集活動を継続して実施し、収蔵標本の充実を図っている。

（２）収蔵標本（自然史資料）の整理、配架、登録および資料目録作成

①整理および再配架

昨年度に引き続き、当館に収蔵されている自然史標本について、整理および再配架を行った。脊椎動物 (哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類)・甲殻類・クモ類・蘚苔 (コケ) 類に関しては、標本ラベルの再照合を完了し、電子台帳 (エクセル表) の整備を進めた。(旧) 紙台帳の存在する部分については、その再照合も併せて行っ

ている。これら整理の進行した分類群に関しては、平行的に「収蔵標本目録 (カタログ)」の作成を行い、十脚目甲殻類、両生類・爬虫類、クモ類の 3 編については、当館紀要第 26 号において印刷公表した。以降も、昆虫綱 (トンボ目、直翅系の目やアミメカゲロウ目等)、鳥類・哺乳類（補遺）、植物 (現生) 花粉プレパラート、シダ植物等の標本目録を作成中である。

②機関略号および各分類群の略号

資料登録に際しての機関略号およびそれに連結する各分類群の略号に関しては、当館の紀要第 25 および 26 号掲載の資料目録、当館の年報第 33 号に記載した通りである。その内、昆虫類 (狭義) については、包含される分類群が多いため、標本番号 (8 桁) の最初の 2 桁を用いて、以下の通り、目 (Order) を振り分けることとした。

イシノミ目(01); シミ目(02); トンボ目(03); カゲロウ目(04); カワゲラ目(05); ハサミムシ目(06); ガロアムシ目(07); カカトアルキ目(08); バッタ目(09); ナナフシ目(10); シロアリモドキ目(11); ジュズヒゲムシ目(12); ゴキブリ目(13); シロアリ目(14); カマキリ目(15); チャタテムシ目(16); シラミ目(17); アザミウマ目(18); カメムシ目(19); ヘビトンボ目(20); ラクダムシ目(21); アミメカゲロウ目(22); コウチュウ目(23); シリアゲムシ目(24); ノミ目(25); ハエ目(26); チョウ目(27); トビケラ目(28); ネジレバネ目(29); ハチ目(30).

(※便宜上、当館で収蔵の見込みのない目も含めてある)

③当館収蔵の標本 (自然史資料) データの GBIF*への提供、公開

鳥類および哺乳類 (紀要第 25 号において、当館における収蔵標本目録を公表済み) に関しては、標本データ 526 点を GBIF 日本ノード (JBIF) ・サイエンスミュージアムネット (S-Net) を通じて GBIF へ提供、世界に向けて公開した。GBIF とは、生物多様性に関する情報を各国、各機関で収集し、ネットワークを通じて全世界的に相互活用することを目的とする、国際協力による科学プロジェクトである。プロバイダごとにデータが集積され、その数は GBIF 全体では 4 億 3 千万件 (平成 26 (2014) 年 4 月時点) 以上に達している。また、(独) 国立科学博物館を中心に推進している自然史標本データ整備事業では、上記 S-Net により、国内向けにもデータ公開がなされている。提供データの使用条件を規定するクリエイティブ・コモンズ (CC)・ライセンスに関しては、GBIF から推奨され、国内機関の大多数が採用している「CC BY」 (データの使用に当たっては出典を明記すること) を申請した。

*Global Biodiversity Information Facility (地球規模生物多様性情報機構)

（３）太陽表面観測データ整理

アストロテラスの太陽 4 連望遠鏡を使用し、太陽の可視光像及び Hα 像の写真観測を実施し、そのデータをハードディスクに保存整理した。

（４）プラネタリウム番組アーカイブ化

新たに企画制作した一般投影 12 番組と子ども向け番組について、デジタルアーカイブ化しシステムに保存した。

（５）寄贈資料整理

元東京天文台講師の冨田弘一郎氏から寄贈された天文資料の中の紙資料の整理に着手し、ダンボール 10 箱の資料についてリストを作成した。

（６）所蔵図書および文献資料の整理

①交換あるいは寄贈雑誌や図録などは、発行元の各館または施設ごとに設置した紙箱（ボックス）に逐次収納している。単行書籍に関しては、当館リニューアル後に大枠で仕分けがなされていたのみであったが、自然分野のものは生物分類群あるいは分野別に仕分け、再配架を行った。将来的には、日本十進分類法（NDC) に従うなど、レファレンスに際して、受付対応が可能となる登録整理や配架方法を検討する必要がある。

②神奈川県立生命の星・地球博物館より、同館での余剰あるいは昆虫分野の重複文献資料（単行書籍・学術雑誌・商業雑誌その他）の寄贈を受けた。以降、順を追って分類・整理を進める予定である。

7　ネットワーク事業

（1）生田緑地サマーミュージアム

生田緑地を会場に自然と人、暮らし、文化や芸術のつながりをテーマに開催される当該行事の実行委員会に参画するとともに、当日は館において次のとおり特別行事を実施した。

担当職員　　島田秀雄　柳下庸子

開催日	内容	参加人数
8月23日（日）	自然ワークショップ（水の中の生きもの）	200
	実験工房（ストロンボーンをつくろう！）	80
	星を見る夕べ特別編	
	企画展示「星の雫～流れ星の写真展～」	
	アニメ理科実験教室～希望の水ライトをつくろう！～	33
	合計	

（2）夏休み生田緑地スタンプラリー

生田緑地内の回遊性向上・各施設の利用促進等を目的に、緑地内外の博物館等施設、指定管理者との連携により、7 月 18 日（土）から 9 月 30 日（水）の間実施した。

（3）多摩区民祭

10 月 17 日（土）、多摩区民祭の一行事として「生田緑地星空散歩」と題する 30 分間の投影を合計 6 回実施し、延べ 1,063 名が観覧した。

（4）カーボンチャレンジ等々力エコ暮らしこフェア

環境局地球環境推進室の要請により、アストロカーの展示と「日時計を作ろう」の出展を、等々力緑地（陸上競技場前広場）において行った。

対　　象　　幼児以上
担当職員　　佐藤幹哉　大泉文人　柳下庸子

開催日	内容	参加人数
5 月 23 日（土）	「日時計」を作ろうをテーマとしたブースの出展とアストロカーの展示	303 名 ※日時計 55 名・アストロカー 248 名の参加

（5）博物館連携

①日本民家園との連携事業「お月見をしよう」を実施した。民家園内の古民家でお月見団子づくりなどの年中行事体験後、プラネタリウムにおいて科学・民俗学的な観点からのお月見の解説を行ったが、望遠鏡による月の観察については天候不良のため中止とした。

対　　象　　小学生以上
担当職員　　國司 眞

開催日	内容	参加人数
10 月 4 日（土）	お月見について、科学的・民俗学的な観点からプラネタリウムを使用して解説を行った。	30

②神奈川県立生命の星・地球博物館（以下「県博」）における、平成 27 年度特別展「生き物を描く サイエンスのための細密描画」開催に当たって、県博からの協力要請を受け、生物画（標本画）の展示・特別展解説書の執筆および挿画・昆虫生態写真その他の提供を行った。

③県博学芸員との共同研究（昆虫類）を実施し、結果の一部を公表した（神奈川県立博物館研究報告等）。

④県博が中心となって編纂している「神奈川県植物誌 2018」の発刊に向け、当館が「川崎ブロック」の拠点となって協力した。

（６）教員研修会

市内外の小中学校及び理科研究会などの依頼により実施した。

担当職員：　大泉文人　弘田澄人　永井一雄

開催日	内　　容	対　　象	参加人数
6月24日（水）	地層学習研修	町田市立山崎中学校	1
7月11日（土）	地層学習研修	神奈川県立希望ヶ丘高等学校（定時制）	1
7月22日（水）	地層学習研修	川崎市立末長小学校	4
7月30日（木）	地層学習研修	川崎市立宮内小学校	6
7月31日（金）	地層学習研修	横浜市立谷本小学校	2
8月20日（木）	地層学習研修	川崎市立大谷戸小学校	5
8月20日（木）	地層学習研修	川崎市立下作延小学校	2
8月21日（金）	地層学習研修	横浜市立青葉区立小学校理科教育研究会	32
8月21日（金）	地層学習研修	川崎市立鷺沼小学校	4
8月26日（水）	植物学習研修	横浜市立黒須田小学校	3
8月28日（土）	地層学習研修	川崎市立南生田小学校	3
8月28日（水）	地層学習研修	川崎市立大戸小学校	4
8月28日（水）	地層学習研修	川崎市立久地小学校	5
8月28日（木）	地層学習研修	川崎市立住吉小学校	4
10月 2日（金）	地層学習研修	川崎市立金程小学校	3
10月 7日（水）	植物学習研修 地層学習研修	川崎市総合教育センター （理科臨地研修会）	48
10月17日（土）	地層学習研修	川崎市立西御幸小学校	2
10月22日（金）	地層学習研修	藤沢市立六会小学校	6
10月23日（土）	地層学習研修	川崎市立久本小学校	4
10月30日（土）	地層学習研修	川崎市立麻生小学校	6
11月 6日（金）	地層学習研修	町田市立鶴川第二小学校	4
11月18日（水）	地層学習研修	川崎市立新作小学校	2
12月 2日（水）	地層学習研修	川崎市立菅生小学校	3
12月 5日（土）	プラネタリウム学習 天体観測研修	CST（ｺｱｻｲｴﾝｽﾃｨｰﾁｬｰ）養成プログラム （横浜国立大学）	28
12月16日（水）	プラネタリウム学習 投影（SDS）活用研修	川崎市総合教育センター （天体観測研修会）	41
1月 4日（月）	プラネタリウム学習 投影（SDS）活用研修	川崎市総合教育センター（中学校高等学校理科初任者指導力向上研修）	15
1月 8日（金）	地層学習研修	川崎市立稗原小学校	3
3月29日（火）	植物学習研修 地層学習研修 プラネタリウム学習 投影（SDS）活用研修	川崎市総合教育センター（中学校高等学校理科初任者指導力向上研修）	15
		合計	256

（７）教職員社会体験研修

主に、神奈川県内の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に勤務する教職員の若手教員５年経験者研修及び10年経験者研修対象者に向けて、館の業務体験の機会を提供した。

担当職員：　大泉文人

受入日	学校名	人数
7月24日（金）	神奈川県立田奈高等学校	1
7月29日（水）	神奈川県立田奈高等学校	1
8月 4日（火）	神奈川県立座間養護学校	1
8月 7日（金）	神奈川県立川崎高等学校（定時制）	1
8月 8日（土）	神奈川県立座間養護学校 神奈川県立川崎高等学校（定時制）	2
8月 9日（日）	神奈川県立座間養護学校 神奈川県立川崎高等学校（定時制）	2
8月20日（木）	神奈川県立田奈高等学校	1
	合計	9

（８）職業体験

中学生を対象に、職業体験の受入を行った。

担当職員　柳下庸子

受入日	学校名	人数
5月28日（木）	川崎市立宮内中学校２年生	4
7月 9日（木）	川崎市立南菅中学校２年生	5
7月23日（木）	川崎市立聾学校中学部２・３年生	2
9月11日（金）	川崎市立金程中学校２年生	4
9月18日（金）	川崎市立菅生中学校２年生	5
11月12日（木）	川崎市立西高津中学校２年生	2
1月15日（金）	川崎市立柿生中学校２年生	5
1月19日（火）	川崎市立西中原中学校２年生	6
1月20日（水）	川崎市立中野島中学校２年生	6
1月21日（木）	川崎市立はるひ野中学校２年生	2
1月22日（金）	川崎市立宮前平中学校２年生	3
1月26日（火）	川崎市立生田中学校２年生	6
2月 2日（火）	川崎市立宮崎中学校２年生	4
2月 4日（木）	川崎市立川中島中学校２年生	2
2月10日（水）	川崎市立富士見中学校２年生	3
2月16日（火）	川崎市立長沢中学校２年生	3
2月24日（水）	川崎市立塚越中学校２年生	6
	合計	68

（9）学芸員実習

大学生を対象に、学芸員実習を実施した。

担当職員　　弘田澄人　川島逸郎　堀内慈恵　永井一雄

受入日	大学名	人数
9月2日（水）～ 9月12日（土）	愛知教育大学、首都大学東京、専修大学、東海大学、東京農業大学、明治大学	7

8　広報活動

科学館だより、プラネタリウムポスター等広報物の配布拡大、館ホームページ、SNS の活用による情報発信強化に取り組むとともに、報道機関への積極的な情報提供を行いながら新聞、雑誌、テレビ等様々なメディアにおける露出を高め、施設の存在や取組の、周知促進を図った。

（1）ホームページアクセス数等

	閲覧等実績	情報発信回数
ホームページ	310,529（アクセス数）	―
フェイスブック（Facebook）	518（「いいね」数）	91
ツイッター（Twitter）	1,190（フォロワー数）	1,231

※フェイスブック「いいね」数、ツイッター「フォロワー」数は平成28年3月31日現在の数

（2）外部メディアにおける掲載数

受入日	掲載数等
雑誌・旅行ガイド	61
新聞	31
テレビ・ラジオ	33
市政だより	17
その他	21

9　他施設交流

緑地内施設等との連携による「生田緑地サマーミュージアム」、「夏休み生田緑地スタンプラリー」等の事業開催、日本民家園、岡本太郎美術館、藤子・F・不二雄ミュージアムの半券所持者に対するプラネタリウム観覧料の割引適用等を実施した。この他、緑地内施設に所属する市職員、指定管理者職員による全体会議、広報担当者会議等に参加し、業務に係る情報交換、意見交換等を行った。

第３章　平成２８年度事業計画

１　事業内容と予算

事業名	事業内容	予算額（千円）
青少年科学館運営管理事業費	館の学芸業務を円滑に実施するために、消耗品購入、各種手数料支払、展示物保守等を行う。	12,310
青少年科学館指定管理経費	館の施設管理業務及び広報業務について、指定管理者に委託する。	74,769
メガスター運営経費	最新鋭の投影機能を備えたメガスターⅢフュージョンの保守管理を行うとともに、番組制作を行う。	25,958
21 世紀子どもサイエンス事業費	科学実験セット「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用等により、子どもの科学への関心促進を図る。	3,807
ホトケドジョウ人工飼育事業費	絶滅危惧種であるホトケドジョウの人工飼育・増殖により、生田緑地産の系統（遺伝子）保存を図る。	192
	合計	117,036

２　事業計画

展示事業・教育普及事業・調査研究事業・収集保存事業・ネットワーク事業について、下記のとおり充実を図る。また、平成 24 年 3 月に策定した青少年科学館運営基本計画に基づき事業評価を行いながら、各事業の適正な進行管理を図る。

（１）展示事業

メガスターⅢフュージョンを活用した精緻なプラネタリウム投影を実施するとともに、展示室における展示資料の更新、保守等を行う。また、適宜、特別企画展示を実施する。

（２）教育普及事業

分野		事業名	事業内容	実施予定回数
自然	1	子どものための昆虫学教室	科学館および生田緑地で、子ども向けの分かりやすい室内講義・野外実習を通して、「昆虫学」への糸口となる場を提供する。	3 回（連続講座）
	2	子どものための植物学教室	科学館および生田緑地で、子ども向けの分かりやすい室内講義・野外実習を通じて、「植物学」への糸口となる場を提供する。	3 回（連続講座）
	3	初心者（大人）のための植物観察講座	講座をとおして、昆虫・植物・野鳥など自然について総合的に学び、自然調査活動に参加する調査員を養成する。	3 回（通年参加）
	4	自然観察会	多摩川を主なフィールドに、昆虫や野鳥などを観察する。	2 回
	5	生田緑地観察会	生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫、キノコなど四季折々の自然を観察する。毎月 3 回開催する。	36 回
	6	自然ワークショップ	自然に関する実験や工作を行い、自然への理解を深める。毎月 1 回開催する。	12 回
天文	1	プラネタリウム投影	毎月、投影テーマを変えながら、星座や天文についての解説をする。一般投影及び学校教育支援のための学習投影がある。	年間
	2	アストロテラス公開	太陽の黒点やプロミネンス、昼間の星を観察する。	年間
	3	星を見る夕べ	プラネタリウムで星座の位置を解説した後、屋上と天体観測室で、星座・月・惑星・星雲星団を観察する。	24 回
	4	星空ゆうゆう散歩	プラネタリウム解説を半世紀以上続けている河原郁夫氏が、シニア等を対象に星座・天文解説を行う。	11 回
	5	ベビー＆キッズアワー	おおむね 4 歳までの乳幼児及び保護者を対象に投影を行う。	17 回
	6	天文講演会	天文分野の専門家が、先端の宇宙科学について解説し天文への理解と関心を高める。	2 回

	7	プラネタリウム 番組制作教室	小中学生対象。番組制作を通じてプラネタリウムならではの体験を参加者が共有し、宇宙への夢を育む。	9 回
	8	星空コンサート	プラネタリウムの星空の下で音楽を演奏することで、通常のプラネタリウムでは味わえない空間を提供する。	2 回
科学	1	21 世紀子どもサイエンス	子どもたちの科学技術への関心促進に向け、「ワクワクドキドキ玉手箱」の活用により、実体験を通じて科学の楽しさを学ぶ体験学習の機会を提供する。	年間
	2	実験工房	大人から子どもまで誰もが気軽に参加できる毎週土曜日の午後に行う工作を含めた科学実験コーナー。	66 回
	3	発明教室	科学への関心喚起を目的に、紙・ペットボトル・竹・発光ダイオードなどを使用した工作を行う。	15 回 （通年参加）
	4	ふしぎ実験室	現象について「考える」ことをテーマに、実験や工作を行う。	10 回
	5	わくわく！科学実験教室	発見する喜びや想像する面白さを体験させることを目的に、科学実験を行う。	11 回
	6	大人のための科学実験教室	大人を対象とした科学実験講座。	5 回
	7	科学サポーター研修会	科学実験を行う講師を養成する研修会。	6 回
	8	親子科学実験教室	幼児を含む親子で参加する科学実験教室。	2 回
学校支援	1	自然観察会（地層・林）	小・中学校、高校を対象に生田緑地内の地層及び林の観察会を行い、理科学習の一助とする。	年間
	2	出前授業	小・中学校の依頼により科学館職員が出向いて行う授業。	年間
	3	総合的な学習支援	小・中学校、高校の依頼により総合学習の支援を行う。	年間

（３）調査研究事業、収集保存事業

・第８次自然環境調査の実施（3 年目）
・気象・天文観測と調査研究
・生物・地質に関する資料収集

（４）ネットワーク事業

生田緑地内の文化施設をはじめとする団体等との連携により、双方の専門性を十分に発揮しながら、市民・利用者にとって魅力的な事業展開を図る。

第４章　資料

１　関係例規

○川崎市青少年科学館条例

昭和46年３月23日条例第24号

（目的）

第１条　この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号）及び博物館法（昭和26年法律第285号）の精神に基づき、川崎市青少年科学館の設置並びに管理及び運営について必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もって青少年の科学知識の普及啓発及び科学教育の振興に寄与することを目的とする。

（名称及び位置）

第２条　川崎市青少年科学館（以下「科学館」という。）の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
川崎市青少年科学館	川崎市多摩区枡形７丁目１番２号

（事業）

第３条　科学館は、第１条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行なう。

（１）　科学に関する実物、標本、模型、文献、図表、写真等（以下「科学館資料」という。）を収集し、保管し、及び展示すること。

（２）　プラネタリウム及び視聴覚器材器具による天文知識及び科学知識の普及啓発を図ること。

（３）　科学に関する講習会、講演会、研究会等を開催すること。

（４）　青少年を対象とする科学技術の実験等を行なうこと。

（５）　科学館資料の作成及びその調査研究を行なうこと。

（６）　学校その他の教育機関又は諸文化施設と協力し、その活動を援助すること。

（７）　博物館その他の教育機関又は諸文化施設と連絡し、協力し、刊行物及び情報の交換、資料の相互貸借を行なうこと。

（職員）

第４条　科学館に館長その他必要な職員を置く。

（指定管理者）

第５条　教育委員会（以下「委員会」という。）は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に科学館の管理を行わせる。

（１）　科学館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。

（２）　事業計画書の内容が、科学館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。

（３）　事業計画書の内容に沿った科学館の管理を安定して行う能力を有すること。

２　前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他委員会が必要と認める書類を委員会に提出しなければならない。

３　委員会は、第１項の指定をしたときは、その旨を告示する。

（指定管理者が行う管理の基準）

第６条　指定管理者は、この条例及びこれに基づく教育委員会規則の規定に従い、科学館の管理を行わなければならない。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第７条　指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

（１）　科学館の施設及び設備の維持管理に関すること。

（２）　科学館の広報活動に関すること。

（３）　前２号に掲げるもののほか、科学館の管理に関する事務のうち、委員会が必要と認める業務

（開館時間及び休館日）

第８条　科学館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ委員会の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前９時30分から午後５時まで
休館日	（１）　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） （２）　休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） （３）　12月29日から翌年の１月３日までの日（前２号に掲げる日を除く。）

（入館料及び観覧料）

第９条　科学館の入館料は、無料とする。

２　プラネタリウムを観覧しようとする者は、別表第１に定める区分によりプラネタリウム観覧料を納めなければならない。

（特別利用）

第10条　科学館資料について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、委員会の許可を受けなければならない。

２　前項の許可を受けた者は、別表第２に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

３　前項の特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

４　委員会は、第１項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他委員会が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

（受講料）

第11条　委員会は、第３条第３号及び第４号に規定する事業を行うに当たっては、受講料を徴収することができる。

２　前項の受講料の額は、委員会がその都度定める。

（観覧料等の減免）

第12条　委員会は、特に必要があると認めるときは、第９条第２項に規定するプラネタリウム観覧料及び第10条第２項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

（観覧料等の還付）

第13条　既納の観覧料等は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

（入館の制限）

第14条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当すると認める者は、入館を断り、又は退館させることができる。

（１）　適当な指導者又は付添人のない６歳未満の者

（２）　泥酔者その他他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑となるおそれのある者

（３）　危険な物品を携帯し、又は動物（身体障害者が同伴する身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）第２条第１項に規定する身体障害者補助犬を除く。）を伴う者

（４）　管理上必要な指示に従わない者

（５）　その他管理上支障があると認められる者

（賠償等）

第15条　建物、展示品その他の器物等を滅失し、又は毀損させた者は、これらを原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

（協議会）
第16条　科学館の円滑な運営を図るため、科学館に川崎市青少年科学館協議会（以下「協議会」という。）を置く。
２　協議会は、科学館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。
３　協議会は、委員10人以内をもって組織する。
４　委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに市民のうちから、委員会が委嘱し、又は任命する。
５　委員の任期は、２年とし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。
（委任）
第17条　この条例の施行について必要な事項は、委員会が定める。

附　則

この条例は、昭和46年８月15日から施行する。

附　則（昭和46年12月24日条例第61号）

この条例は、昭和47年４月１日から施行する。

附　則（昭和47年６月19日条例第46号）

この条例は、昭和47年７月１日から施行する。

附　則（昭和56年３月31日条例第23号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（昭和58年３月18日条例第10号）

（施行期日）
１　この条例は、昭和58年４月１日から施行する。
（経過措置）
２　この条例施行の際、現に使用許可を受けている者の当該使用許可に係る観覧料の額については、なお従前の例による。

附　則（平成５年３月26日条例第25号）

この条例は、平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成12年12月21日条例第81号）

この条例は、平成13年４月１日から施行する。

附　則（平成14年10月８日条例第35号）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平成17年９月30日条例第89号）

この条例は、平成18年４月１日から施行する。

附　則（平成18年12月14日条例第78号）

この条例は、平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成19年３月20日条例第18号抄）

この条例は、平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成19年10月９日条例第47号）

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律（平成19年法律第96号）の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附　則（平成21年12月24日条例第47号抄）

（施行期日）
１　この条例は、平成22年４月１日から施行する。

附　則（平成23年12月16日条例第41号）

この条例は、規則で定める日から施行する。（平成24年４月27日規則第60号で平成24年４月28日から施行）

附　則（平成24年３月19日条例第27号）

この条例は、平成25年４月１日から施行する。ただし、第２条の改正規定及び第４条の次に４条を加える改正規定（第５条（指定管理者に科学館の管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は公布の日から、第11条の改正規定（同条を第16条とする部分を除く。）は平成24年４月１日から施行する。

附　則（平成27年３月23日条例第２号抄）

（施行期日）

１　この条例は、平成27年４月１日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

（１）　第16条、第17条及び第20条の規定　平成27年５月１日

（２）　第３条の規定　平成27年６月１日

（３）　第19条の規定　平成27年７月１日

（４）　第７条の規定　平成28年４月１日

（５）　第12条、第14条及び第15条の規定　平成28年５月１日

（６）　第２条、第４条、第11条、第13条及び第18条の規定　平成28年６月１日

（７）　第６条の規定　平成28年９月１日

（８）　第５条の規定　平成28年10月１日

（９）　第８条の規定　平成28年11月１日

附　則（平成28年３月24日条例第30号）

この条例は、平成28年４月１日から施行する。

別表第１（第９条関係）

１　普通観覧料

（１）　一般投影の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	200円	１人につき　160円
一般	400円	１人につき　320円

備考

１　団体とは、20人以上をいう。

２　学齢に達しない者及び学校教育法（昭和22年法律第26号。以下「法」という。）第１条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

３　高校生・大学生とは、法第１条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

４　一般とは、前２項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。

（２）　特別投影の観覧料

１人につき2,000円の範囲内で委員会がその都度定める。

２　共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考　共通利用券は、次に掲げる施設の観覧等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20人以上をいう。）の観覧等については、この限りでない。

（１）　科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

（２）　川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号）に規定する川崎市市民ミュージアムにおいて川崎市市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

（３）　川崎市岡本太郎美術館条例（平成11年川崎市条例第25号）に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

（４）　川崎市立日本民家園条例（昭和42年川崎市条例第19号）に規定する川崎市立日本民家園への入園

３　特別入場券

委員会は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第２（第10条関係）

区分	単位	特別利用料
熟覧	１点１日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
撮影	１点	300円
原板使用	１枚	2,000円

○川崎市青少年科学館使用規則

昭和46年7月28日教委規則第11号

（趣旨）

第１条　この規則は、川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号。以下「条例」という。）第17条の規定に基づき、川崎市青少年科学館（以下「科学館」という。）の管理及び運営について必要な事項を定めるものとする。

（公告）

第２条　教育委員会（以下「委員会」という。）は、条例第５条第１項の規定により科学館の管理を行わせるため、法人その他の団体（以下「法人等」という。）を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

（１）　管理を行わせる施設の名称及び所在地

（２）　条例第５条第１項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う管理の基準及び業務の範囲

（３）　指定管理者の指定の予定期間（以下「指定予定期間」という。）

（４）　条例第５条第２項の規定による事業計画書その他委員会が必要と認める書類の提出（以下「事業計画書等の提出」という。）の方法

（５）　前各号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める事項

（事業計画書等の提出）

第３条　事業計画書等の提出は、委員会が定める期間内にしなければならない。

２　条例第５条第２項に規定する事業計画書その他委員会が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

（１）　指定予定期間に属する各年度の科学館の管理に係る事業計画書及び経費見積書

（２）　定款又は寄附行為及び登記事項証明書（法人以外の団体にあっては、これらに相当する書類）

（３）　事業計画書等の提出をする日（以下「提出日」という。）の属する事業年度の前事業年度における財産目録、賃借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあっては、その設立時における財産目録とする。

（４）　提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書

（５）　役員の名簿及び履歴書

（６）　組織及び運営に関する事項を記載した書類

（７）　現に行っている業務の概要を記載した書類

（８）　前各号に掲げるもののほか、委員会が必要と認める書類

（指定管理予定者）

第４条　委員会は、事業計画書等の提出をした法人等が２以上あるときは、条例第５条第１項各号に掲げる要件（以下「指定要件」という。）を満たし、かつ、条例第３条各号に掲げる事業を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者（以下「指定管理予定者」という。）とする。

２　委員会は、事業計画書等の提出をした法人等が１である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

３　委員会は、前条第１項に規定する委員会が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前２項の指定管理予定者がないときは、再度、第２条の規定による公告を行う。

（通知）

第５条　委員会は、条例第５条第１項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（別記様式）により通知する。

（協定）

第６条　指定管理者は、委員会と科学館の管理に関する協定を締結するものとする。

２　前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

（１）　事業計画に関する事項

（２）　管理に要する費用に関する事項

（３）　管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項

（4） 管理の業務の報告に関する事項
（5） 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
（6） 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
（7） その他委員会が必要と認める事項

（事務の委任）

第７条　条例に基づく次に掲げる事務は、教育長に委任する。
（1） 条例第９条の規定により特別投影の観覧料を定めること及び特別入場券を発行し、その額を定めること。
（2） 条例第10条の規定により特別利用の許可、取消し等を行うこと。
（3） 条例第11条の規定により受講料の額を定めること。
（4） 条例第12条の規定により観覧料等を減免すること。
（5） 条例第13条の規定により観覧料等を還付すること。
（6） 条例第15条の規定により損害賠償の額を減免すること。

（観覧料の徴収）

第８条　条例第９条に規定する観覧料は、観覧券、共通利用券又は特別利用券により徴収するものとする。

（共通利用券）

第９条　条例別表第１第２項に規定する共通利用券は、プラネタリウムの一般投影及び特別投影の観覧のほか次に利用することができる。
（1） 川崎市市民ミュージアムの市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場
（2） 川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
（3） 川崎市立日本民家園への入園

２　共通利用券は、前項に規定する施設への団体の観覧、入場及び入園並びに次条に定める特別入場券の購入には使用できないものとする。

（特別入場券）

第10条　教育長は、特に必要があると認めるときは、条例別表第１第３項の規定により次の特別入場券を発行することができる。
（1） 定期券
（2） 共通入館券
（3） 優待券
（4） 前売券

２　前項の特別入場券を発行する場合の額は、その都度教育長が定める。

（特別利用の申請等）

第11条　条例第10条の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用に係る申請書をあらかじめ教育長に提出しなければならない。

２　教育長は、特別利用を許可したときは、当該申請者に特別利用に係る許可書を交付するものとする。

３　教育長は、特別利用を許可するときは、次の各号に掲げる条件を付することができる。
（1） 条例第３条第１号に規定する科学館資料（以下「科学館資料」という。）の模写、模造、拓本又は撮影によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示するとき、又は出版物等に掲載するときは、科学館の所蔵に係るものであることを、適宜な方法で表示すること。
（2） 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
（3） 科学館資料を撮影したときは当該撮影によって得た複製物を、また出版物等へ掲載したときは当該出版物等を科学館に提供すること。
（4） その他教育長が必要と認める事項

（特別利用の制限等）

第12条　教育長は、次の各号に掲げる科学館資料については、特別利用を許可しない。
（1） 特別利用によって科学館資料の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
（2） 寄託された科学館資料等で寄託者の同意を得ていないもの
（3） 著作権者がある科学館資料で著作権者の同意を得ていないもの

（4） その他教育長が特別利用することが不適当と認めるもの

２　特別利用は、教育長の指示に従って行われなければならない。

（観覧料等の減免等）

第13条　条例第12条の規定により教育長が観覧料等を減免することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1） 観覧料

ア　学校教育法（昭和22年法律第26号）第１条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合（引率者を含む。）　全額

イ　児童福祉法（昭和22年法律第164号）第７条に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合（引率者を含む。）　全額

ウ　川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が一般投影の観覧を行う場合　全額

エ　身体障害者手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者が観覧を行う場合（介護者を含む。）　全額

オ　その他教育長が特に必要があると認める場合　その都度教育長が定める額

（2） 特別利用料

ア　市又は国若しくは他の地方公共団体がその事務事業の用途に供することを目的とする場合　全額

イ　私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事務事業の用途に供することを目的とする場合　全額

ウ　専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合　全額

エ　その他教育長が特に理由があると認める場合　その都度教育長が定める額

２　前項に規定する減免を受けようとする者は、あらかじめ教育長に減免申請書を提出しなければならない。ただし、前項第１号ウの場合にあっては、川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第14条　条例第13条の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1） 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合　全額

（2） 管理上の必要から観覧を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合　全額

（3） その他教育長が特に理由があると認める場合　その都度教育長が定める額

（入館者の遵守事項）

第15条　科学館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

（1） 表示以外の陳列品に手を触れないこと。

（2） 所定の場所以外において飲食又は喫煙しないこと。

（3） その他教育長が指示する事項

（附属様式）

第16条　この規則の施行について必要な書類の様式は、教育長が定める。

（委任）

第17条　この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。

附　則

（施行期日）

１　この規則は、昭和46年８月15日から施行する。

（経過措置）

２　第２条第１項別表の規定にかかわらず、昭和46年８月15日から同年９月15日までの観覧者は、一般個人及び一般団体とする。

附　則（昭和47年３月29日教委規則第17号）

この改正規則は、昭和47年４月１日から施行する。

附　則（昭和56年２月20日教委規則第１号）

（施行期日）
1　この改正規則は、昭和56年４月１日から施行する。
（経過措置）
2　この規則施行の際、現に使用許可を申請している者及び使用許可を受けている者の当該使用許可申請及び当該使用許可については、なお従前の例による。

附　則（平成２年６月27日教委規則第14号）

この規則は、平成２年７月１日から施行する。

附　則（平成５年３月26日教委規則第４号）

この規則は、平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成５年３月26日教委規則第６号）

この規則は、平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成11年３月31日教委規則第３号）

この規則は、平成11年４月１日から施行する。

附　則（平成11年６月30日教委規則第８号）

この規則は、平成11年７月１日から施行する。

附　則（平成12年６月26日教委規則第13号）

この規則は、平成12年７月１日から施行する。

附　則（平成13年２月22日教委規則第２号）

この規則は、平成13年４月１日から施行する。

附　則（平成15年２月20日教委規則第４号）

この規則は、平成15年４月１日から施行する。

附　則（平成17年11月25日教委規則第24号）

この規則は、平成18年４月１日から施行する。

附　則（平成18年３月16日教委規則第１号）

この規則は、平成18年４月１日から施行する。

附　則（平成19年２月１日教委規則第４号）

この規則は、平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成19年３月22日教委規則第７号）

この規則は、平成19年４月１日から施行する。

附　則（平成20年５月29日教委規則第14号）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成24年４月26日教委規則第５号）

この規則は、平成24年４月28日から施行する。

附　則（平成25年３月28日教委規則第６号抄）

（施行期日）
1　この規則は、平成25年４月１日から施行する。

附　則（平成28年３月30日教委規則第７号）

この規則は、平成28年４月１日から施行する。

別記様式

<table>
<tr><td colspan="2">

指 定 管 理 者 指 定 書

川崎市教育委員会指令　第　　号

住所

名称

代表者の氏名　　様

を川崎市青少年科学館の指定管理者に指定しましたので、川崎市青少年科学館使用規則第５条の規定により通知します。

年　　月　　日

川崎市教育委員会　　印

</td></tr>
<tr><td>指 定 期 間</td><td>年　　月　　日から　　年　　月　　日まで</td></tr>
</table>

○川崎市青少年科学館使用規則施行規程

平成11年6月30日教育長訓令第12号

川崎市青少年科学館使用規則（昭和46年教育委員会規則第11号）第７条（第１号、第３号及び第６号を除く。）、第11条、第12条、第13条、第14条及び第15条第３号に規定する教育長の事務は、川崎市青少年科学館館長（以下「館長」という。）に委任する。

附　則

（施行期日）

１　この訓令は、平成11年７月１日から施行する。

（経過措置）

２　この訓令施行の際、現に効力を有する教育長が行った行為又は教育長に対して行われた行為で、館長が処理することとなる事務に係るものは、この訓令施行の日以後においては、館長が行った行為又は館長に対して行われた行為とみなす。

附　則（平成13年３月28日教育長訓令第１号）

（施行期日）

１　この訓令は、平成13年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　この訓令の施行前に改正前の訓令の規定によりなされた処分、手続その他の行為については、この訓令の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附　則（平成25年３月29日教育長訓令第１号）

この訓令は、平成25年４月１日から施行する。

○川崎市青少年科学館協議会規則

昭和47年6月30日教委規則第27号

（趣旨）

第１条　この規則は、川崎市青少年科学館条例（昭和46年川崎市条例第24号。以下「条例」という。）第16条の規定に基づく川崎市青少年科学館協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

（選出区分）

第１条の２　条例第16条第４項の委員の選出区分は、次の各号に掲げるとおりとする。

（１）　市内に設置された学校の教育職員

（２）　市内の社会教育関係団体等から推薦された者

（３）　市内在住の自然科学に関する知識、経験を有する市民

（４）　学識経験者

（５）　市内の家庭教育の向上に資する活動を行う者

（会長及び副会長）

第２条　協議会に会長及び副会長を置く。

２　会長及び副会長は、委員の互選とする。

３　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

４　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を行なう。

５　会長及び副会長に事故があるとき、又は会長及び副会長が欠けたときは、あらかじめ会長の指定する委員が、会長の職務を行なう。

（招集）

第３条　協議会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

（議事）

第４条　協議会は、会長及び在任委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。

２　協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

（協議会の庶務）

第５条　協議会の庶務は、川崎市青少年科学館において処理する。

（委任）

第６条　この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附　則

この規則は、昭和47年７月１日から施行する。

附　則（平成５年３月26日教委規則第６号）

この規則は、平成５年４月１日から施行する。

附　則（平成12年２月１日教委規則第３号）

（施行期日）

１　この規則は、平成12年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　改正前の規則の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附　則（平成24年３月19日教委規則第３号）

この規則は、平成24年４月１日から施行する。

附　則（平成25年３月28日教委規則第８号）

この規則は、平成25年４月１日から施行する。

2　刊行物

刊行物名	部数
科学館だより（隔月刊）	合計51,000
川崎市青少年科学館年報第33号　2014年度	50
川崎市青少年科学館紀要第25号	200

3　利用案内

開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時

休館日

毎週月曜日（祝日の場合は開館）
祝日の翌日（土曜・日曜の場合は開館）
年末年始　（12 月 29 日～1 月 3 日）

プラネタリウム一般投影観覧料

個人	一般	400 円
	高校生・大学生	200 円
団体	一般	320 円
	高校生・大学生	160 円
中学生以下		無料

ただし「身体障害者手帳」、本市発行の「福寿手帳」を提示した方等は無料

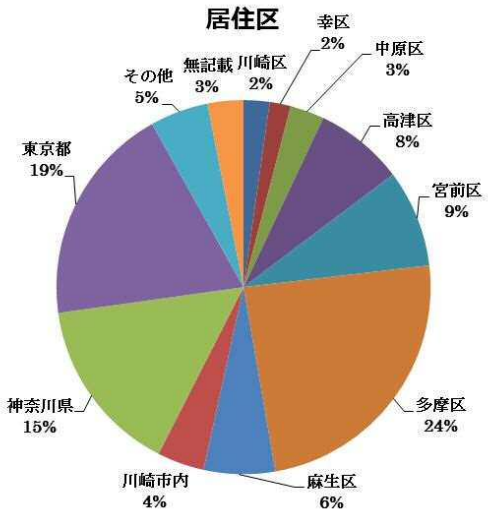
プラネタリウム投影開始時刻

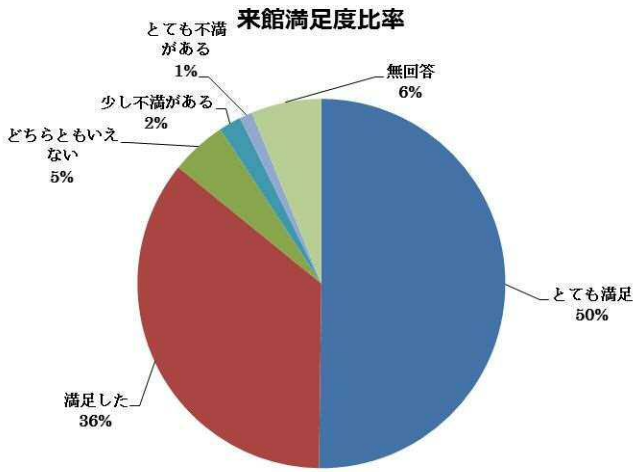
	1 回目	2 回目	3 回目	4 回目
土・日・祝日 春夏冬休み期間中	10:30 子ども向け投影	12:00 一般投影	13:30 一般投影	15:00 一般投影
火～金曜日	学校向け学習投影 （一般利用不可）			15:00 一般投影

4　来館者アンケート

館の利用実態、利用者満足度の把握のため、平成24年から館利用者に対しアンケートを開始し、平成27年度においては713件の回答を回収した。

回答によると、居住地については「市内」が全体の約 58%を占めている。また、利用にあたり、約 86%の満足回答があった。





5　平成 26 年度事業評価（平成 27 年度実施）

		実施項目	自己評価	協議会評価
展示	自然	わかりやすい展示と展示保守ｼｽﾃﾑ確立	3	A
		展示と活用	3	
	天文	川崎方式のﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ投影	4	A
		基礎から最新情報まで反映した天文展示	3	
	科学	科学に関する企画展	4	A
教育普及	自然	生田緑地での自然体験活動	3	B
		連携による自然体験活動	3	
		展示解説やﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ	3	
		学校支援	3	
		人材育成	2	
	天文	市民・児童生徒参加のﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ番組制作	3	A
		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ活用の教室・講座	4	
		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑ活用の他分野との融合ｲﾍﾞﾝﾄ	3	
		ｱｽﾄﾛﾃﾗｽ等での天文体験	3	
		学校支援	3	
		人材育成	3	
	科学	多様な学習ﾆｰｽﾞに応える実験教室	3	A
		21 世紀子どもｻｲｴﾝｽ事業の推進	3	
		学校支援	3	
		人材育成	3	
調査研究	自然	市自然環境調査の継承発展	3	B
		継続調査の実施	3	
		自然への理解促進に向けた調査研究	3	
	天文	天文現象に係る調査研究の継続	3	B
		天文現象への理解促進に向けた調査研究	3	
	科学	科学への理解促進に向けた調査研究	3	B
収集保存	自然	市の自然に係る資料収集、保存・管理	4	A
	天文	天文観測ﾃﾞｰﾀの収集保存・管理	3	A
		ﾌﾟﾗﾈﾀﾘｳﾑに係る資料収集、保存・管理	3	
	科学	科学実験に係る資料の保存・管理	3	B

	実施項目	自己評価	協議会評価
ネットワーク	市民等参画による市の特性を活かした教室等	3	B
	関係機関との連携協力体制の構築	3	B
	学校・市民団体連携による学習・交流の拡大	3	A
	緑地のにぎわい創出と周辺地域への拡大に向けたまちづくりへの参加・協力	3	B
	緑地内他施設との相互連携による事業	3	B
管理運営	効果的・効率的な施設運営	3	B
	開館時間の柔軟な運用	3	
	効果的・効率的な収支計画	3	
	諮問機関の運営	3	B
	館運営における市民・利用者の参画	3	
	危機管理ﾏﾆｭｱﾙの作成と周知	3	B
	危機管理研修及び想定訓練の実施	3	
	広域避難所内の施設としての災害対策	2	
	各種出版物の発行	3	B
	多様なﾒﾃﾞｨｱ媒体を活用した広報活動	4	
	緑地全体の広報活動と連動した情報発信	3	
	職員の資質向上	3	B
	館の魅力向上に向けたｶﾌｪ等のｻｰﾋﾞｽ向上	3	
	空きｽﾍﾟｰｽを活用した学習ｻｰﾋﾞｽの提供	3	
	学校団体の利便性に配慮したｻｰﾋﾞｽ提供	3	
	他施設との連携によるｻｰﾋﾞｽ向上	3	
	利用手続における利便性向上	3	
	多様な利用者への配慮（ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰ化等）	3	A
	外国人利用者に向けた案内情報提供	3	
	運営基本計画に基づく事業実施と進行管理	3	B
	事業評価の実施と評価結果の公表	3	
	評価結果に基づく改善と計画見直し	3	

※自己評価については 5 段階評価で最高評価は 5、協議会評価ついては 4 段階評価で最高評価は A

川崎市青少年科学館年報
第 34 号　2015 年度（平成 27 年度）
2017 年（平成 29 年）3 月発行
発　行　川崎市青少年科学館
所在地　〒214-0032　川崎市多摩区枡形 7-1-2
TEL　044(922)4731
FAX　044(934)8659